

令和 5 年 度
(第 4 9 回)
事 業 報 告 書

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 3 1 日

一般社団法人 宮崎県トラック協会

目 次

I	令和5年度 事業の概要（総括）	1
II	令和5年度 事業報告	3
1	協会の概況	3
2	主な会議等	5
3	監査及び行政検査等	13
4	要請活動等	13
5	持続可能なみやざきの物流構築のための総決起大会の概要	15
6	宮崎県による物流事業者に対する各種補助事業等の取組み実績等	16
7	国民生活に不可欠な物資、エネルギー等の安定供給の確保を目的とする事業 《公益目的事業》	19
(1)	経営基盤強化総合対策事業	19
(2)	交通安全・事故防止対策事業	25
(3)	地方貨物自動車運送適正化事業	29
(4)	環境・エネルギー対策事業	33
(5)	労働・労務対策事業	35
(6)	緊急物資輸送対策事業	36
(7)	経営・近代化促進事業	37
(8)	消費者対策事業	40
(9)	広報対策事業	40
(10)	負担金事業	44
8	研修施設の賃貸事業及び記録簿等の販売 《収益事業》	45
(1)	研修施設及び機器の貸出し	45
(2)	協会所有施設の賃貸	45
(3)	物品販売	45
9	福利厚生・表彰事業 《その他事業》	45
(1)	福利厚生事業	45
(2)	表彰事業	46

I 令和5年度 事業の概要（総括）

新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態に世界中が翻弄されて早3年が過ぎたが、我が国の経済は、ウィズコロナの下、社会経済活動の正常化が進みつつあり、サービス消費を中心に回復基調に向かって動き出している。

一方、ロシアによるウクライナ侵攻を背景として、国際的な原材料価格の上昇にとどまらず、円安の影響などから、エネルギーや食料品等の価格上昇が続き、世界的な景気後退への懸念が高まるとともに、貨物運送業界においても、かつて経験したことのない燃料価格高騰の緊急事態が続いている。

国においては、「日本経済の再生」を最優先課題とし、新しい資本主義の旗印の下、「物価高・円安への対応」、「構造的な賃上げ」、「成長のための投資と改革」を重点分野として取り組むこととしている。

一方、トラック運送業界では、改正改善基準告示の周知並びに「2024年問題」への的確な対応とともに、トラックドライバーの労働環境の改善等が急務であり、運送業界のこの1年を振り返ると、働き方改革の進展や少子高齢化に伴うドライバー不足の加速化、更には、令和6年4月からの罰則付きで適用される時間外労働の上限規制への対応など、待ったなしの課題が山積しており、持続可能な事業経営の環境づくりが求められている。

こうした状況等を踏まえ、当協会の令和5年度の事業活動は、昨年6月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、概ね事業計画に基づき、各種協会活動や会議・セミナー等の開催、協会広報誌やホームページ、一斉FAX等による会員事業者のニーズの高いタイムリーな情報等の提供、更には各種メディア等を活用した広報活動の強化とともに、宮崎県をはじめ、全ト協や県ト協の各種補助金・助成金を活用しながら役職員一丸となって、会員事業所の経営改善・課題解決に向けた各種事業の推進に努めた。

まず、1点目の2024年問題への対応に当たっては、県の主導による国機関・県内経済団体等における「価格転嫁の円滑化に関する協定締結」に参画し、地域経済の核となる県内中小企業及び零細事業者が価格転嫁しやすい環境整備を推進した。

また、県内運送事業者はもとより、荷主企業や一般消費者をはじめ、関係行政官庁や関連業界・団体等が一堂に会し、「県民一体となった持続可能なみやぎきの物流輸送サービスの構築」とともに、「本県の産業・経済の更なる発展を目指す」ための総決起大会を開催し、気運醸成を図った。

2点目の「燃油価格高騰対策」では、協会会長等役員による県知事・県議会議長への要望活動も功を奏し、昨年度に引き続き、全国に先駆けて燃油価格の高騰などで厳しい経営状況にあるトラック運送事業者等に対する県補助金が創設され、県ト協において会員事業所等（非会員を含む。）に対し、2度にわたる補助金交付事務を実施し、総額11億8千万円余の補助金が会員事業所に対して交付できた。

3点目の「交通安全・事故防止対策」では、安全で安心な輸送サービスの提供を最優先課題として取り組んだ。具体的には、春・秋の全国交通安全運動や飲酒運転根絶運動、過積載絶滅運動等におけるパトロールや啓発活動等の強化、ドラコン・安全運転研修による安全意識や運転技術等の向上、更には無事故・無違反をグループで競う「交通事故防止コンクール」では942チームが参加し、達成率94.3%の好成績を収め、会員事業所の法令遵守の意識の高さが伺えた。

4点目の「人材育成確保対策」では、長時間労働や低賃金など雇用環境の改善及びドライバー不足の解消を図り、持続的で安定した輸送力を確保するために告示された「標準的な運賃」において宮崎運輸支局と連携して荷主・関係団体への要請活動を行った。

一方、「荷主対策の深度化」と「標準的な運賃」に係る制度は、令和6年3月までの時限措置であったが、取組半ばで制度の継続的運用が必要との観点から、「当分の間」の措置と改正され、運賃の適正収受に向けた更なる取組強化が急務となっている。

更に、「全日本トラック協会青年部会九州ブロック大会」を本県で開催し、全国の青年部会員約280名が集うとともに、次世代の本県トラック業界をリードする担い手育成及びスキルアップを図るため、第1期経営成長塾を開講し、卒塾生の成長とネットワーク強化に繋がった。

5点目の「適正化事業」では、D・E事業所への巡回指導の強化や専門部会活動等で機会ある毎に法令遵守の徹底を推進するとともに、Gマーク事業所認定率が全国で唯一2年連続で5割超えを達成し、4年連続の日本一の座を維持でき、当協会が最重要課題として掲げる「安全第一」の意識向上と輸送秩序の確立に繋がるとともに、県民や荷主等に対して「日本一安全なみやざき緑ナンバー」を広くアピールできた。

6点目の業界の課題解決に向けた要請活動では、全ト協や九ト協などと連携しながら、国や県選出国會議員に対し、トラック関係の税制改正・予算要望等を行うとともに、県知事や県議會議長等に対し、燃油高騰対策をはじめ、令和6年度物流改革関係予算や各専門部会が抱える課題解決に向けた県政要望活等を積極的に展開した結果、九州トラック協会や宮崎県での部会や協議会の設立による一体的な取組に繋がった。

7点目としては、「10月9日はトラックの日」に合わせた関連事業として、8月から11月にかけて、夏休み日帰りバスツアーや、第2期のトラックの森づくり事業、「テゲバジャーロ宮崎」と連携した冠試合の開催など、多くのイベントを主催・参加でき、県ト協活動やトラック運送業界に対する一般県民等への理解と関心を尚一層深めてもらうことができた。

また、協会ホームページについては、ドライバーや一般者が携帯電話でも検索し易いよう、全面リニューアルを行ない、動画の制作・配信等も開始した。

このように、協会会員第一の協会活動・運営に主眼を置き、会員事業者の協力の下、国内物流の太宗を担うトラック運送事業者として、更には エッセンシャルワーカーとして、県民の生活を守り、また、トラック運送業界の「社会的貢献」が正しく理解され、社会的地位の向上に向けて取り組んだ1年であった。

以下、詳細について事業報告する。

Ⅱ 令和5年度 事業報告

1 協会の概況

(1) 設立年月日

昭和23年1月8日

(2) 定款に定める目的

本協会は、貨物自動車運送事業の適正な運営及び公正な競争を確保することによって事業の健全な発達を促進し、もって公共の福祉に寄与するとともに、事業の社会的、経済的地位の向上及び会員相互の連絡協調と緊密化を図ることを目的とする。

(3) 定款に定める事業

- ① 貨物自動車運送事業に係る交通安全、環境保全及び労働災害に関する事業
- ② 緊急救援物資の輸送及び災害対策支援事業に関する事業
- ③ 輸送サービスの改善に関する事業
- ④ 貨物自動車運送事業に関する調査、研究、統計に関する事業
- ⑤ 貨物自動車運送事業の近代化、合理化のための事業
- ⑥ 貨物自動車運送事業の近代化、合理化のための事業を行う貨物自動車運送事業者の全国団体に対する出捐
- ⑦ 法令及び税制に関する調査、研究
- ⑧ 行政庁の行う貨物自動車運送事業法その他の法令の施行の措置に対する協力
- ⑨ 貨物自動車運送事業の社会的、経済的地位の向上に寄与する施策と宣伝啓発
- ⑩ 貨物自動車運送事業法に基づく地方貨物自動車運送適正化事業
- ⑪ 会員相互の連絡協調を図る施策
- ⑫ その他、本協会の目的を達成するために必要な事業

(4) 会員の状況

- ① 会員数 465社 (令和6年3月31日現在)

② 会員の異動

◇ 入会 11社

	会社名	代表者名	住所
1	NXキャッシュ・ロジスティクス(株)九州支店宮崎センター	藤代 正司	宮崎市江平中町4-3
2	大巧興業	吉田 剛	延岡市平原町1-276-1
3	(株)サークルプラン宮崎営業所	堀田 真吾	都城市下長飯町899-2
4	(株)松田林業小林営業所	松田 春年	小林市細野2952-1
5	(株)サンケイロジスティクス	工藤 聖也	東臼杵郡門川町大字加草732
6	安全産業(株)宮崎営業所	矢野 健	西都市大字山田3646-1
7	(株)隼人圧送宮崎支店	徳留 優哉	都城市菓子野町10345-1
8	フジトランスポート(株)都城支店	石崎 元己	都城市都北町6435-1
9	(有)シンユウ運送	申田 裕光	延岡市塩浜町3-1752-24
10	(株)山奈急送宮崎営業所	山口 和昭	宮崎市田野町あけぼの2-8
11	森林の郷合同会社	佐藤 雅洋	西臼杵郡日之影町大字七折10041-1

◇ 脱会 9社

(5) 役員に関する事項

① 異動状況

(単位：名)

区 分	当 初	就 任	辞 任	期 末
常 勤 役 員	2	1	1	2
非常勤役員	16	3	2	17
監 事	2	0	0	2
合 計	20	4	3	21

② 役員名簿

(令和6年3月31日現在)

役 職 名	会 社 名	氏 名	備 考
会 長	(株)マキタ運輸 代表取締役	牧田 信良	陸災防理事
副 会 長	(株)高鍋運送 代表取締役	増田 哲	中央北支部長 陸災防副支部長
〃	(有)荒木運輸 代表取締役	荒木 久次	中央南支部長 陸災防理事
〃	(株)トミシマ 代表取締役	和田 憲明	県北支部長 陸災防理事
〃	草水運送(株) 代表取締役	草水 裕之	㊦都城支部長 陸災防支部長
専務理事	(一社)宮崎県トラック協会	大久津 浩	㊦陸災防理事
常務理事	(一社)宮崎県トラック協会	水元 栄一郎	㊦
理 事	日本通運(株)宮崎支店 支店長	脇之藪 隆	㊦中央北支部副支部長
〃	日豊輸送(株) 代表取締役	高石 淳一	中央北支部副支部長
〃	宮崎運輸(株) 代表取締役	藤元 昭太	
〃	(株)古川興業 代表取締役	古川 義信	中央南支部副支部長
〃	(有)コア物流 代表取締役会長	仁田脇 義雄	
〃	八興運輸(株) 代表取締役	三輪 亮介	県北支部副支部長
〃	センコー(株) 延岡支店長	伊達 真一	㊦県北支部副支部長
〃	日向運輸(株) 代表取締役	松本 公一	
〃	(有)森山運送 取締役社長	森山 数也	都城支部副支部長
〃	(株)松尾運送 代表取締役	松尾 仁志	㊦都城支部副支部長
〃	(株)霧島商事 代表取締役	竹之内 清子	
〃	G T エナジー(有) 代表取締役	元明 吉美	都城支部副支部長
監 事	中村税務会計事務所 所長	中村 良美	陸災防監事
〃	(一財)九州陸運協会 宮崎支部長	桑島 隆一	陸災防監事

※ 備考欄の㊦は令和5年6月の定例総会で就任（6名）、うち昇任（2名）

(6) 職員に関する事項

① 異動状況

(単位：名)

区 分	当 初	採 用	退 職	期 末
協 会 計	9	2	1	10

※採用：新規1名、嘱託から正職員任用1名、退職は常勤役員昇格

② 配置状況

(単位：名)

区 分	事 務 局 長	総 務 課	業 務 課	適正化事業課
協 会 計	1 (指導員兼務1)	2	3 (指導員兼務1)	4

※ () 内の数字は兼務職員数

区 分	事務局長	課 長	課長代理	係 長	主 任	係
協 会 計	1	2	1	2	2	2

※その他～協会本部：臨時1名、都城支部：嘱託1名、臨時1名、県北支部：嘱託1名

2 主要な会議等

(1) 令和5年度(第48回)通常総会

- 日時 : 令和5年6月15日(木) 14時30分～
- 場所 : 宮崎観光ホテル
- 議題

<報告事項>

- 第1号報告 令和4年度事業報告について
- 第2号報告 令和4年度公益目的支出計画実施報告について

<決議事項>

- 第1号議案 令和4年度計算書類の承認について
- 第2号議案 役員を選任について



総会会場(宮崎観光ホテル)



改選された新役員



野中前専務理事の退任挨拶

(2) 正副会長会議

開催年月日	回	議 題	開 催 場 所
R 6. 3. 15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画・予算の骨子(案)について ・2024年問題緊急対応予算について ・令和6年度県・国の補助事業概要について ・SDドライバー認証制度(仮称)の実施について ・多重下請け構造の在り方検討会提言概要 ・外国人特定技能における業種追加について ・第29回全国トラック運送事業者大会開催計画 ・令和5年度県の燃料高騰対策実績(総括)他 	県ト協

(3) 理事会

開催年月日	回	議 題	開 催 場 所
R 5. 5. 15	1	通常総会提出議案等について	県ト協
R 5. 6. 15	2	役員改選について	宮崎観光ホテル
R 5. 7. 24	3	承認事項、報告事項等について	県ト協
R 5. 10. 23	4	承認事項、報告事項等について	県ト協
R 6. 1. 17	5	承認事項、報告事項等について	宮崎観光ホテル
R 6. 3. 27	6	承認事項、報告事項等について	県ト協

※ 但し、10月23日の理事会後に、県ト協専門部会の正副部会長と協会正副会長・理事との意見交換会（浜乃瀬）を開催。

(4) 全ト協、九ト協等関連

令和5年

4月 6日	全国専務会（全ト協）
4月11日	九ト協物流政策委員会（福岡県トラック協会）
6月 1日	第200回全ト協理事会（全ト協）
6月20日	九ト協専務会、第1回九ト協理事会・総会（唐津シーサイドホテル）
6月29日	全ト協第201回理事会・総会・第100回通常総会 （第一ホテル東京）
7月13日	全ト協第224回常任理事会、第202回理事会、 第3回全ト協役員選考委員会（第一ホテル東京）
7月13日	全日本トラック事業政治連盟第67回評議委員会、夏季懇談会 （第一ホテル東京）
7月28日	全国専務会（札幌パークホテル）
8月25日	物流政策委員会（全ト協）
9月13日	モーダルシフト推進・標準化分科会（WEB）
9月27日	全ト協第21回経営改善・DX推進委員会（東京都トラック総合会館）
10月 4日	第28回全国トラック運送事業者大会（札幌パークホテル）
10月10日	全ト協協議（飼料畜産輸送部会）（全ト協）
10月19日	九州・中国・四国ブロック専務会（ホテルパールガーデン）
10月21日	第55回全国トラックドライバーコンテスト～23日 （中央研修所～第一ホテル東京）
11月 1日	第45回九州地区物流政策意見交換・懇談会（八仙閣本店）
11月 7日	第2回総務委員会（全ト協大会議室）
11月13日	九ト協第3回専務会、第2回理事会（オリエンタルホテル福岡）
11月28日	九州ブロック適正化研修（大分レンブラントホテル）
11月29日	全ト協物流政策委員会（全ト協）
12月 7日	全ト協第203回理事会（第一ホテル東京）
12月 7日	全日本トラック事業政治連盟冬季懇談会（第一ホテル東京）

令和6年

1月11日	全国専務会（都ホテル岐阜長良川）
1月23日	令和6年全日本トラック協会新年賀詞交換会（パレスホテル東京）
2月 1日	全ト協労働安全・災害防止委員会（全ト協）
2月 7日	九ト協合同部会（福ト協）
2月19日	第3回全ト協総務委員会（全ト協）
2月20日	第60回物流政策委員会（全ト協）
2月22日	第22回経営改善・DX推進委員会（全ト協）

2月26日	令和6年度事業者大会運営会議・準備委員会（全ト協）
2月27日	全ト協環境対策・GX推進委員会（全ト協）
2月28日	九州ブロック飼料畜産部会（九ト協）
3月1日	令和6年度助成事業等に係る実務担当者会議（全ト協）
3月4日	九ト協第3回理事会（ANAクラウンプラザホテル熊本）
3月7日	全ト協第204回理事会（第一ホテル東京）
3月7日	第18回全国貨物自動車運送適正化実施機関本部長会議 （第一ホテル東京）
3月7日	全日本トラック事業政治連盟春季懇談会（第一ホテル東京）

(5) 県ト協関連

令和5年

4月4日	衛星電話通信訓練（県ト協）
4月5日	総合政策部長表敬訪問（県ト協）
4月5日	飼料・畜産部会要望関係JA宮崎経済連畜産参事協議（JAアズム）
4月5日	交通安全定規贈呈（日向市教育委員会）
4月6日	交通安全定規贈呈（延岡市教育委員会）
4月6日	宮崎政経懇話会（宮崎観光ホテル）
4月11日	輸送経済新聞取材（県ト協）
4月13日	内外情勢調査会（宮崎観光ホテル）
4月14日	県産業振興機構松浦理事長表敬訪問（県ト協）
4月14日	G.S.ブレインズリモート会議（県ト協）
4月14日	宮崎労働局長来協（県ト協）
4月14日	新船就航MR T取材（マキタ運輸）
4月19日	総合政策課ゼロカーボンヒアリング（県ト協）
4月21日	県港湾課長県有地利用協議（県ト協）
4月24日	みやざき農の物流DX推進協議会幹事・事務局合同会議（県庁）
4月25日	県ト協・陸災防・道運研会計監査（県ト協）
4月26日	「宮崎県のおしごとキャリア教育本」贈呈式（宮崎港小）
4月26日	県総合政策部長2024年問題ヒアリング（県総合政策部長室）
4月26日	都城・小林地区労働災害防止連絡協議会（都城地区建設業協会）
4月27日	九州運輸局長表敬訪問、協会長との意見交換（県ト協）
4月27日	日向市役所中田部長燃油高騰対策意見交換会（県ト協）
4月28日	全ト協輸送事業部業務関連会議（県ト協ZOOM）
4月28日	県議会議長・副議長来協・退任あいさつ（県ト協）
4月28日	県域経済団体役員との懇談会（宮崎市）
5月1日	国交省自動車局 堀内局長他2024年問題現地調査（マキタ運輸）
5月9日	農水省との物流に係る意見交換会（県庁）
5月11日	宮崎運輸(株)新社屋完成パーティー（シーガイアコンベンションセンター）
5月11日	令和5年度九州地区道路利用者会議定時総会（ニューウェルシティ宮崎）
5月15日	第1回政策研理事会（県ト協）
5月15日	燃油高騰対策知事要望（自動車3業界合同）（知事応接室）
5月16日	青島バラ園管理者支援検討会（青島バラ園）
5月16日	宮崎市役所都市戦略課・田野支所による道の駅ヒアリング（県ト協）
5月17日	みやざき農の物流DX推進協議会監査（県ト協）
5月17日	県議会議長・副議長新任あいさつ（県ト協）

- 5月19日 みやざき農の物流DX推進協議会委員会（県庁）
- 5月19日 県ポートセールス協議会総会（宮崎市民プラザ）
- 5月22日 みやざきSDGsプラットフォーム令和5年度総会（県庁）
- 5月23日 南九州物流センター協同組合令和5年度通常総会（ホテルラスターインク）
- 5月24日 宮崎県犯罪のない安全で安心なまちづくり県民会議（県庁防災庁舎）
- 5月27日 自民党県連総務会、定期大会（JAAZMホール）
- 5月31日 宮崎県人権啓発推進協議会令和5年度総会（県庁防災庁舎）
-
- 6月1日 県商工政策課来協・協議（県ト協）
- 6月2日 ハイウェイセイフティサマー作戦（宮崎西IC）
- 6月3日 自民党第一選挙区支部総会（宮崎観光ホテル）
- 6月5日 県長距離フェリー航路利用促進協議会総会（県庁）
- 6月7日 県商工観光労働部長協議（県部長室）
- 6月9日 宮崎港振興協会理事会・総会（宮崎観光ホテル）
- 6月12日 県物産貿易振興センター総会（ニューウエルシティ宮崎）
- 6月16日 南九州交通共済協同組合通常総代会懇親会（熊本市）
- 6月17日 江藤拓衆議院議員「国防を語る会」（高鍋町中央公民館）
- 6月19日 県貨物運送事業協同組合連合会定例会議（県ト協）
- 6月19日 県高速道対策局協議（県ト協）
- 6月22日 地方協議会事前打ち合わせ（県ト協）
- 6月24日 武井代議士とトップランナー養成塾卒塾生との意見交換会
（宮崎市公民館）
- 6月27日 県農政水産部・水産輸送ヒアリング（県ト協）
- 6月28日 県総合交通課（6月補正予算）協議（県庁）
- 6月29日 キャリア教育出前授業（大宮中学校）
- 6月30日 G. S. ブレインズコンサルティング(株)訪問・協議（東京都）
-
- 7月1日 第39回トラックドライバーコンテスト県大会（梅田学園）
- 7月1日 長峯誠政経セミナー（MRT MICC）
- 7月2日 公明党宮崎県本部「政策要望懇談会」（ニューウエルシティ宮崎）
- 7月3日 第419回宮崎政経懇話会（宮崎観光ホテル）
- 7月4日 安全運転事業所表彰（県警本部）
- 7月5日 都城市長へのソーラー街路灯贈呈式（都城市長室）
- 7月6日 道の駅北郷ソーラー式街路灯協議（日南市役所）
- 7月7日 宮崎県高速道路交通安全協議会（ニューウエルシティ宮崎）
- 7月10日 郡司社長訪問（宮崎カーフェリー）
- 7月10日 永山県副知事離任式（県庁）
- 7月12日 県畜産振興課補助事業協議（県ト協）
- 7月20日 令和5年度宮崎県道路利用者協議会総会（ニューウエルシティ宮崎）
- 7月20日 県総合交通課補助事業協議（県ト協）
- 7月24日 赤羽元国土交通大臣との意見交換会（宮崎市民文化ホール）
- 7月24日 公明党国政報告会（宮崎市民文化ホール）
- 7月25日 整備管理者選任前研修（県自販会館）
- 7月28日 河川国道事務所道の駅ヒアリング（県ト協）
- 7月28日 県自民党県連の令和6年度政策・予算等要望ヒアリング（JA・AZM）
- 7月28日 自民党宮崎県支部連合会政策懇談会（宮崎観光ホテル）
- 7月31日 第81回国民スポーツ大会、第26回全国障害者スポーツ大会

宮崎県準備委員会第7回総会（宮崎観光ホテル）

- 8月 1日 県総合交通課協議（総決起大会）（県庁）
- 8月 1日 高千穂通道路空間利用活用協議会（宮崎市民プラザ）
- 8月 3日 インボイス及び電子帳簿説明会（県ト協・WEB）
- 8月 3日 防災団体等連絡協議会（労働局）
- 8月 3日 夏休み日帰り親子バスツアー（県北支部管内、農協果汁他）
- 8月 4日 令和5年度トラックの森（延岡地区）植樹祭現地検討会・懇親会（延岡市）
- 8月 7日 みやざきの農DX推進協議会物流研修会（JAAZMホール）
- 8月10日 県ブランド流通課協議（県ト協）
- 8月10日 宮崎人材確保対策推進協議会（ハローワーク宮崎）
- 8月16日 西米良村地域交通会議（西米良村基幹集落センター）
- 8月16日 モーダルシフト推進・標準化分会（県ト協・オンライン）
- 8月17日 岡崎県食肉事業組合理事長協議（県ト協）
- 8月18日 県地域婦人連絡協議会会長協議（婦人会館）
- 8月18日 武井俊輔政経セミナー（宮崎観光ホテル）
- 8月21日 テレビ宮崎商事総決起大会協議（県ト協）
- 8月21日 宮崎政経懇話会（宮崎観光ホテル）
- 8月21日 宮崎県港湾セミナー（宮崎観光ホテル）
- 8月21日 県貨物運送事業協同組合連合会臨時総会（杉の子）
- 8月23日 令和5年度宮崎県交通渋滞対策会議（宮崎河川国道事務所）
- 8月23日 第1回「宮崎県の物流に関する意見交換会」（県庁講堂）
- 8月24日 第1回経営成長塾、懇談会（県ト協）
- 8月25日 消防訓練（県ト協）
- 8月25日 MRTアド協議・トラックの日テゲバジャーロ（県ト協）
- 8月28日 県総合交通課協議（総決起大会準備確認）（県ト協）
- 8月28日 価格転嫁の円滑化に関する協定締結式（県庁講堂）
- 8月30日 宮崎市地球温暖化対策地域協議会会議（宮崎市役所）
- 8月30日 豚熱事例に係る緊急防疫会議（県庁防災庁舎）
- 8月31日 持続可能なみやざきの物流構築のための総決起事業者大会
（宮崎観光ホテル）
- 9月 1日 国交省小熊貨物課長現地視察（マキタ運輸）
- 9月 2日 自由民主党宮崎県政経セミナー2023（宮崎観光ホテル）
- 9月 4日 宮崎市との特定建築物等の定期調査報告協議（宮崎市役所）
- 9月 5日 別当設計事務所協議（県ト協）
- 9月10日 衆議院議員渡辺創政経セミナー2023（シーガイア）
- 9月13日 モーダルシフト標準分科会（県ト協・オンライン）
- 9月13日 トラックの日テゲバジャーロ宮崎マッチデー開催協議（県ト協）
- 9月14日 内外情勢調査会宮崎支部9月懇談会（宮崎観光ホテル）
- 9月15日 CO₂対策と経費削減に係る講演会（ホテルメリージュ）
- 9月19日 日南市「道の駅北郷」ソーラーパネル付き街路灯贈呈式
（日南市長室）
- 9月19日 南九州交通共済会議・懇談会（ホテルマリックス）
- 9月20日 三県合同秋の全国交通安全運動「369作戦」（道の駅えびの）
- 9月21日 第2回経営成長塾（県ト協及びWEB会議）

9月25日	都城地区経済同友会セミナー（中山荘）
9月26日	宮崎牛生体のフェリー輸送に係る検討会（県ト協）
9月27日	第421回宮崎政経懇話会（宮崎観光ホテル）
9月27日	広告代理店協議（県ト協）
9月28日	「トラックの日チャリティーゴルフ大会」（宮崎カントリー）
9月30日	古川事務所第14回特別セミナー（都城市総合文化ホール）
10月1日	トラックの日テゲバジャーロ宮崎マッチデー（新富サッカー場）
10月2日	トラックの森2023整備協定締結〈持ち回り締結〉（県ト協）
10月2日	大分県港湾課来協・協議（県ト協）
10月6日	家畜飼料運搬に係る県畜産振興課協議（県ト協）
10月6日	県高速道路交通安全協議会理事会（宮崎高速道路事務所）
10月10日	鹿児島・宮崎県ト協飼料・畜産輸送部会陳情（森山代議士、農水省）
10月10日	延岡市アリーナ管理者選考委員会（延岡市役所）
10月12日	経営課題解決セミナー（県ト協）
10月12日	全国地区運輸協会勉強会（アートホテル）
10月12日	内外情勢調査会宮崎支部10月懇談会（宮崎観光ホテル）
10月12日	警察官友の会（アルカーサルビエントス）
10月13日	宮崎フレンズ会定例会（宮崎観光ホテル）
10月13日	地区連盟石井局長来協（県ト協）
10月13日	第422回宮崎政経懇話会（宮崎観光ホテル）
10月13日	安全で安心なまちづくり県民の集い（宮崎市民プラザ）
10月14日	国道222号線牛の峠バイパス建設促進大会（MJホール）
10月15日	河野しゅんじ県政報告会（宮崎観光ホテル）
10月16日	県貨物組合連合会現地視察・意見交換会（熊本県）
10月18日	トラックの日献血（県ト協）
10月19日	高千穂通周辺地区道路空間検討ワーキング（宮崎河川国道事務所）
10月20日	令和5年度宮崎県高速道路交通安全協議会総会 （宮崎河川国道事務所）
10月21日	参議院議員長峯誠国政報告会（大淀公民館）
10月23日	宮崎神宮自動車祓殿鎮座記念祭（宮崎神宮社務所）
10月23日	県ト協役員と専門部会正副会長との意見交換会（浜乃瀬）
10月24日	第14回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会第1回合同会議 （宮崎市中央公民館）
10月25日	第1回ひなたのみやざき材流通対策連絡会議（県木材会館大会議室）
10月26日	第3回経営成長塾（県ト協）
10月27日	宮崎県人会世界大会記念式典・歓迎レセプション（シーガイア）
10月30日	高千穂通周辺地区道路空間検討幹事会（宮崎河川国道事務所）
10月31日	高速道路交通安全協議会協議（県ト協）
11月1日	県総合交通課2024年問題CM制作協議（県ト協）
11月1日	Gマーク支局長表彰式（県ト協）
11月1日	過積載絶滅推進大会（県ト協）
11月2日	九州5県引越部会合同研修会（ホテルマックス）
11月4日	山下県議盆地会懇談会（青島ホテル）
11月5日	karadaGoodみやざき2023（JAAZM）
11月7日	第2回トラックの森植樹祭現地打合せ（延岡市岡富山）

- 1 1月 8日 第1回宮崎港の中期ビジョン検討会（県庁防災庁舎）
- 1 1月 8日 県庁畜産振興課協議（県庁）
- 1 1月 9日 内外情勢調査会宮崎支部11月支部懇談会（宮崎観光ホテル）
- 1 1月 9日 宮崎SDGsプラットフォーム令和5年度臨時総会（宮大）
- 1 1月 9日 長時間労働の削減等に取り組む「ベストプラクティス企業」意見交換会（宮崎労働局）
- 1 1月 9日 県農業流通ブランド課協議（県ト協）
- 1 1月 10日 宮崎フレンズ会定例会（宮崎観光ホテル）
- 1 1月 10日 宮崎南警察署沿岸防犯協力会総会（青島サンクマール）
- 1 1月 11日 (株)新生運輸創立50周年祝賀会（都城市）
- 1 1月 14日 適正化評議委員会（県ト協）
- 1 1月 15日 モーダルシフト利用促進セミナー（オリエンタルホテル福岡）
- 1 1月 15日 日隈副知事協議（副知事室）
- 1 1月 18日 トラックの森（延岡地区）植樹祭2023（延岡市岡富山）
- 1 1月 21日 標準的な運賃活用セミナー（県ト協）
- 1 1月 24日 交通事故労働災害防止総決起大会（県ト協）
- 1 1月 24日 燃油高騰対策県知事・県議会議長要望（県庁）
- 1 1月 27日 県選出国會議員へのトラック関係施策要望（議員会館）
- 1 1月 27日 衆議院議員江藤拓政経セミナー（ホテルルポール麹町）
- 1 1月 28日 九州ブロック適正化研修（大分市レンブラントホテル）
- 1 1月 28日 都城貨物事業協同組合通常総会（テラスタ）
- 1 1月 29日 第4回経営成長塾（県ト協）
- 1 1月 30日 物流セミナー並びwebkit説明会（県ト協）
- 1 1月 30日 宮日記者との懇談会（宮崎市）
- 1 2月 4日 令和5年度宮崎県冬期道路交通確保対策調査会議
（宮崎河川国道事務所）
- 1 2月 4日 古賀運輸支局長協議（支局）
- 1 2月 12日 飼料・畜産輸送に係る検討会議事前レク（畜産振興課）
- 1 2月 13日 備蓄品贈呈式（（一財）宮崎県ひとり親福祉連合会）
- 1 2月 14日 アグリフードチェーン司令塔会議（県庁講堂）
- 1 2月 18日 高千穂通周辺地区空間利活用協議会（県庁講堂）
- 1 2月 18日 県貨物組合連合会事務局会議（松尾うなぎ）
- 1 2月 20日 第5回経営成長塾（県ト協）
- 1 2月 20日 県道路建設課重要物流道路陳情打合せ（県ト協）
- 1 2月 20日 GSブレインズ懇談会（写楽）
- 1 2月 21日 県主催の飼料畜産輸送に係る検討会（防災庁舎）
- 1 2月 21日 宮崎フレンズ会定例会（宮崎空港ビル）

令和6年

- 1月 4日 2024年新年賀詞交換会（宮崎観光ホテル）
- 1月 4日 能登半島地震緊急支援物資輸送（1回目）
- 1月 10日 県道路公社協議<一ツ葉有料道路関係>（県ト協）
- 1月 10日 能登半島地震緊急支援物資輸送（2回目）
- 1月 11日 内外情勢調査会1月支部懇談会（宮崎観光ホテル）
- 1月 17日 令和6年県ト協新春懇談会（宮崎観光ホテル）
- 1月 18日 第423回宮崎政経懇話会（宮崎観光ホテル）

1月19日	第2回高千穂通の道路空間検討ワーキング（県庁）
1月19日	南九州物流センター協同組合新年会（ホテルテラスタ）
1月19日	能登半島地震緊急支援物資輸送（3回目）
1月22日	商工中金宮崎支店長協議（県ト協）
1月22日	県農政水産部来協（県ト協）
1月25日	県貨物組合連合会新年会（志ほ）
1月26日	熊ト協法人設立50周年記念式典（ホテル日航熊本）
1月29日	整備管理者定期研修（JAAZM）
1月29日	日向市長への燃油高騰対策要望活動（日向市役所）
1月30日	青島バラ園協議（高原工業団地）
1月31日	整備管理者定期研修（JAAZM）
1月31日	第2回宮崎港の中期ビジョンに関する検討会（宮崎市民プラザ）
1月31日	第6回経営成長塾（県ト協）
2月 1日	能登半島地震災害支援プロジェクト2024協議（県ト協）
2月 4日	バラ園検討会（青島バラ園）
2月 5日	（株）SEミート宮崎竣工内覧会、祝賀会（シーガイア）
2月 5日	第3回高千穂通道路空間利用活用協議会（県庁防災庁舎）
2月 6日	第2回宮崎県交通渋滞対策協議会（宮崎河川国道事務所）
2月 6日	宮崎県道路整備講習会（宮崎観光ホテル）
2月 7日	宮交バス事業説明（県ト協）
2月 9日	宮崎フレンズ会定例会（宮崎観光ホテル）
2月 9日	宮崎県高速道路交通安全協議会（アートホテル）
2月13日	価格転嫁の円滑化に関する協定に係る会議（県庁）
2月15日	青島バラ園協議（青島バラ園）
2月15日	内外情勢調査会宮崎支部2月支部懇談会（宮崎観光ホテル）
2月16日	衆議院議員武井俊輔国政報告会（宮崎市民文化ホール）
2月19日	県ト協と商工中金の勉強会（県ト協）
2月19日	第424回宮崎政経懇話会（宮崎観光ホテル）
2月19日	宮崎県不法投棄情報ネットワーク連絡会議（県庁）
2月19日	宮崎市生体輸送事業協議会説明（県ト協）
2月21日	第7回経営成長塾（県ト協）
2月21日	能登半島地震緊急支援物資輸送（4回目）
2月26日	第15回トラック輸送における取引環境・労働時間改善宮崎県地方協議会（県ト協）
2月27日	市町村対抗駅伝反省会議（中央公民館）
2月29日	令和5年度宮崎県道路交通環境安全推進連絡会議（河川国道事務所）
3月 6日	県環境森林課EV車導入補助事業説明（県ト協）
3月 9日	自民党宮崎県支部連合会総務・支部長合同会議（JAAZMホール）
3月 9日	北海道トラック協会会長工藤修二氏旭日小綬章を祝う会 （札幌パークホテル）
3月14日	自衛隊宮崎地方協力本部人材確保協議（地連本部）
3月15日	みやざき農の物流DX推進協議会（県庁）
3月15日	第8回経営成長塾最終報告会（県ト協）
3月18日	第426回宮崎政経懇話会（宮崎観光ホテル）
3月19日	飼料畜産輸送に係る県協議会（県防災庁舎）

- 3月25日 第2回ひなたのみやざき材流通対策連絡会議（宮崎林産物流センター）
 3月27日 宮崎県トラック政策研究会第2回理事会（県ト協）
 3月28日 能登半島地震緊急支援物資輸送（5回目）

3 監査及び行政検査等

(1) 県ト協決算監査

令和5年 4月25日 令和4年度決算監査（指摘なし）

(2) 県総合交通課行政検査

令和5年 5月17日 令和4年度運輸事業振興助成補助金に係る会計確認検査
 県補助金：167,994千円（指摘なし）

(3) 県総合交通課行政検査

令和5年11月13日 令和5年度交通・物流事業者燃料高騰等対策事業に係る会計確認検査 県補助金：659,862千円（指摘なし）

(4) 県畜産振興課行政検査

令和6年 3月 5日 令和5年度カーフェリーを活用した肉用牛の生体輸送実証調査事業に係る業務委託会計確認検査
 県業務委託料：3,716千円（指摘なし）

(5) 県総合交通課行政検査

令和6年 3月13日 令和5年度交通・物流事業者燃料高騰継続対策事業に係る会計確認検査 県補助金：527,165千円（指摘なし）

(6) 県総合交通課行政検査

令和6年 3月29日 令和5年度高速道路等利用助成事業補助金に係る会計確認検査
 県補助金： 3,669千円（指摘なし）

4 要請活動等

県ト協が抱える諸課題等の解決を図るため、下記の要望事項について、会長・副会長をはじめ専門部会役員及び常勤役員による要請活動を実施した。

<令和5年>

(1) 5月15日 宮崎県知事への燃料価格高騰に関する自動車運送業界からの要望

<県トラック協会、県バス協会、県タクシー協会の3者連名による要望>

◇当方：《県ト協：牧田会長、和田副会長、大久津常務理事》

《バス協会：高橋会長、上平専務理事、タクシー協会：吉本会長、柳田副会長》

◇先方：《河野俊嗣宮崎県知事》

◇要望

内容：○ 燃料費高騰対策ための支援策の継続実施について

(2) 7月 2日 公明党宮崎県本部「政策要望懇談会」における令和6年度県政に関する要請

◇当方：《大久津専務理事、水元常務理事》

◇先方：《河野義博参議院議員、宮崎県議会議員（坂本康郎、重松幸次郎、工藤隆久、今村光雄）、他公明党市議会議員》

◇要望

内容： 下記、自民党県連への令和6年度県政に関する要請と同じ

(3) 7月28日 自由民主党宮崎県支部連合会への令和6年度県政に関する要請

◇当方：《荒木政策研会長、増田副会長、野中顧問、水元常務理事》

◇先方：《自民党県議会議員（野崎幸士、山内いっとく）》

◇要望

- 内容：① 東九州自動車道の県内区間におけるSA・PAの新設について<変更>
② 九州中央自動車道におけるSA・PAの整備計画及び道の駅を活用した大型車の休憩・駐車スペースの確保・充実等について<新規>
③ 事業用トラックの高速道路料金割引の恒久化について<継続>
④ フェリー乗船料金の補助について<継続>
⑤ 引越輸送における優良事業者の優先利用について<継続>
⑥ 中心市街地の幹線道路における駐車・荷捌きスペースの確保について<変更>
⑦ 原木輸送事業者への啓発指導について<継続>
⑧ 高規格道路都城志布志道路の早期全面開通について<継続>
⑨ 公共工事におけるダンプカー輸送について<継続>
⑩ 家畜伝染病の消毒ポイントの見直しについて<継続>
⑪ 飼料配送のドライバーの安全確保及び労働作業改善について<変更>
⑫ トラック協会が運営する地域防災・災害対策関連研修・備蓄施設等に係る固定資産税の軽減措置の適用について<新規>
⑬ 原油価格等の高値水準の中、2024年問題等の多くの課題を抱える運送業界における持続的なトラック物流提供への継続支援について<新規>

※ 要請結果について、令和6年2月20日付けの自由民主党宮崎県支部連合会会長、幹事長、政調会長の連名で、県所管課の意見を踏まえた回答文書有り。

(4) 11月24日 宮崎県知事・県議会議長への燃料価格高騰に関する自動車運送業界からの要望
＜県トラック協会、県バス協会、県タクシー協会3者連名による要望＞

◇当方：《県ト協：牧田会長、増田副会長、大久津専務理事》

《バス協会：高橋会長、岸上副会長、タクシー協会：吉本会長、柳田副会長》

◇先方：《河野俊嗣宮崎県知事、濱砂守県議会議長》

◇要望

内容：○ 重点支援地方交付金を活用した燃料費高騰対策ための支援策の継続について

(5) 11月27日 宮崎県選出国會議員への令和6年度トラック関係施策に関する要請

＜県トラック協会が国會議員会館内の各事務所等への訪問による要望活動＞

◇当方：《県ト協：牧田会長、草水副会長、大久津専務理事》

◇先方：《衆議院議員：江藤拓、古川禎久、武井俊輔、参議院議員：松下新平、長峯誠》

◇要望

内容：＜税制関係要望事項＞

- ① 自動車関係諸税の簡素化・軽減等（簡素化・軽減、営自格差の拡充、自動車重量税の道路特定財源化）
- ② 特例措置の延長（物流総合効率化法、少額資産即時償却、地方拠点強化税制、中小企業向け賃上げ促進税制）

＜道路関係要望事項＞

- ① 高速道路料金徴収期限の延長を踏まえた利便性向上策の推進

- ② 高速道路料金等の引き下げ（料金水準、大口・多頻度割引の50%割引、フェリー利用補助等）
- ③ 物流基盤の整備（高速道路ネットワークの整備・充実、休憩・休息施設、中継物流拠点の整備・拡充）
- ④ その他諸施策の推進（冬期の道路交通対策、自然災害時の高速道路料金、ETC2.0によるサービスの充実、超過度を反映した特車通行許可違反点数制度）

< 予算・施策関係要望事項 >

- ① 「物流の2024年問題」解決に向けた支援（標準的な運賃・燃料サーチャージの確実な収受、荷主対策の深度化、労働生産性の向上や人材確保等）
- ② 燃料価格高騰への支援、環境・交通安全対策に係る支援（環境・省エネ対策、交通安全対策、車両の電動化等に伴う車両総重量等の規制緩和）
- ③ 施策要望（市街化調整区域に係る法制度の見直し、被けん引自動車の自賠責保険保険料の見直し、貨物集配中の車両に係る駐車規制の見直し）

< 令和6年 >

- (6) 1月19日 宮崎商工会議所連合会会頭へのGマーク認定事業者及び引越安心マーク認定事業者の優先利用についての要望

< 県トラック協会会長及び宮崎運輸支局長による合同要請 >

◇ 当方： 《 運輸支局：古賀支局長、田中首席運輸企画専門官、県ト協：大久津専務理事 》

◇ 先方： 《 中原専務理事、松田常務理事、牧草総務企画課長 》

◇ 要望

内容：○ Gマーク制度及び引越安心マーク認定事業制度の周知と優先利用について

- (7) 1月29日 日向市長への燃料価格高騰に関する日向市管内トラック運送業界からの要望

< 県トラック協会会長及び県北支部長の連名による要望 >

◇ 当方： 《 県北支部：三輪副支部長、松本理事、本田理事、県ト協：大久津専務理事 》

◇ 先方： 《 十屋幸平日向市長 》

◇ 要望

内容：○ 燃料費高騰対策のための支援策の継続実施について



河野知事への自動車業界要望活動



自民党県連への県政要望



江藤代議士への要請活動

5 持続可能なみやざきの物流構築のための総決起大会の概要

< 開催目的 >

県内運送事業者はもとより、荷主企業や一般消費者をはじめ、関係行政官庁や関連業界・団

体等が一堂に会し、「2024年問題」への対応に向け、各関係者相互の連携や物流基盤等の強化を図りながら、「県民一体となった持続可能なみやぎきの物流輸送サービスの構築」とともに、「本県の産業・経済の更なる発展を目指す気運を醸成する」ことを目的に開催した。

- ◇ 開催日時 令和5年8月31日（木）13:00～17:00
- ◇ 開催場所 宮崎観光ホテル 碧翠耀の間
- ◇ 主催等 主催 （一社）宮崎県トラック協会 共催 宮崎県
- ◇ 後援 宮崎運輸支局、全日本トラック協会、宮崎県商工会議所連合会、宮崎県経済農業協同組合連合会など 12機関・団体
- ◇ 参加協力 宮崎県建設業協会など8団体
機 関
- ◇ 大会内容
 - 持続可能なみやぎきの物流イメージ動画のお披露目（地元TVでCM放送に活用）
 - 講演
 - <第1部>
 - 講師：国土交通省 自動車局 貨物課長 小熊 弘明 氏
 - 「我が国の物流の革新に向けた取組みの動向」
 - <第2部>
 - 講師：物流ジャーナリスト、日本物流学会会員 森田 富士夫 氏
 - 大会共同宣言
 - <荷主企業代表> 宮崎県経済農業協同組合連合会 園芸部部长 押川 和範 氏
 - <運送事業者代表> (株)キング運輸 取締役運輸部長 山下 敬雄 氏
 - <消費者代表> 宮崎県地域婦人連絡協議会 副会長 神谷 則子 氏
 - ガンバロー三唱
 - (一社)宮崎県トラック協会 引越専門部会 部会長 太田 直久 氏
 - その他
 - 10月31日（火）の宮崎日日新聞の全面広告で、当大会の総括概要を県民に啓発・周知するとともに、協会ホームページで大会動画を配信した。



総決起大会の会場風景



大会共同宣言



参加者全員でのガンバロー三唱

6 宮崎県による物流事業者に対する各種補助事業等の取組み実績等

(1) 燃油高騰対策の継続支援（所管：宮崎県総合交通課実績）

本県では、昨年度に引き続き、全国に先駆けて燃油価格の高騰などで厳しい経営状況にあるトラック運送事業者等に対する燃料高騰対策の県補助金が創設され、県ト協において会員事業所（非会員を含む。）に対し、2度にわたる補助金交付事務を実施した。

① 交通・物流事業者燃料高騰対策費補助金の実績

（事業期間：令和5年8月～10月）

- ◇ 会 員 419社、@10.8万円（3,799台）、@5.4万円（4,136台）

	計	< 7, 935台>	、補助金額	< 633, 636千円>	
◇ 非会員	38社、@10.8万円	(133台)	、@5.4万円	(203台)	
	計	< 336台>	、補助金額	< 25, 326千円>	
◇ 合計	457社、@10.8万円	(3, 932台)	、@5.4万円	(4, 339台)	
	計	< 8, 271台>	、補助金額	< 658, 962千円>	・・・イ
◇ 事務費			補助金額	< 900千円>	・・・ロ

② 交通・物流事業者燃料高騰追加対策費補助金の実績

(事業期間：令和6年1月～ 3月)

◇ 会員	427社、@8.4万円	(3, 909台)	、@4.2万円	(4, 209台)	
	計	< 8, 118台>	、補助金額	< 505, 134千円>	
◇ 非会員	40社、@8.4万円	(140台)	、@4.2万円	(224台)	
	計	< 364台>	、補助金額	< 21, 168千円>	
◇ 合計	467社、@8.4万円	(4, 049台)	、@4.2万円	(4, 433台)	
	計	< 8, 482台>	、補助金額	< 526, 302千円>	・・・ハ
◇ 事務費			補助金額	< 863千円>	・・・ニ

③ 令和5年度補助金総額 (イ+ロ+ハ+ニ) 1, 187, 027千円・・・ホ

④ (参考) 令和4年度交通・物流事業者燃料高騰等対策費補助金の実績

□ 第1回目補助金 (令和4年7月～10月)

◇ 合計	466社、@6万円	(4, 144台)	、@3万円	(5, 259台)	
	計	< 9, 403台>	、補助金額	< 406, 410千円>	・・・ヘ
◇ 事務費			補助金額	< 846千円>	・・・ト

□ 第2回目補助金 (令和4年12月～令和5年2月)

◇ 合計	474社、@3.6万円	(4, 245台)	、@1.8万円	(5, 068台)	
	計	< 9, 313台>	、補助金額	< 244, 044千円>	・・・チ
◇ 事務費			補助金額	< 855千円>	・・・リ

□ 令和4年度総補助金額 (ヘ+ト+チ+リ) 652, 155千円・・・ヌ

⑤ (参考) 令和4・5年度交通・物流事業者燃料高騰等対策費補助金の総括

◇ 10t以上の積載車両	1台当たり (通算)	@28.8万円	
◇ 10t未満の積載車両	1台当たり (通算)	@14.4万円	
◇ 補助金総額 (ホ+ヌ)			1, 839, 182千円

(2) 高速道路等利用料助成事業補助金の創設 (所管課：宮崎県総合交通課)

本県では、高速道路等の利用による輸送力向上とともに、モーダルシフトの推進を目的に、県内の港湾や貨物駅を出発地とする国内定期航路 (のぼり便) や貨物鉄道を利用するため、指定の高速道路や一般有料道路を利用した際の利用料金の補助事業が創設され、県ト協において補助金交付事務を実施した。

◇ 補助額	1回当たりの利用料金の1/2以内、上限12千円
◇ 会員	8社、(3,230台)、補助金額<3,646千円>
◇ 事務費	補助金額<23千円>
◇	補助金総額 3,669千円

(3) カーフェリーによる肉用牛の生体輸送実証調査事業の受託（所管課：宮崎県畜産振興課）

宮崎県・JA宮崎中央・(有)昇栄運送・宮崎カーフェリー(株)・機器メーカーと連携して、カーフェリーでの生体輸送に係る季節毎の船内環境調査や、家畜運搬車両を冷却するための複数の機器実証を行い、特に、暑熱期の高温緩衝や輸送時の肉用牛の事故発生リスクの軽減につながり、2024年問題解決への一助となる成果が得られた。

◇ 委託期間	令和5年8月4日～令和6年2月29日
◇ 委託内容	(1) 空冷等を活用したカーフェリー船内での暑熱対策の実証 (2) カーフェリー乗船時の肉用牛生体、船内環境等の状況調査 (3) 調査結果の広報・周知
◇	委託料 3,716千円

7 国民生活に不可欠な物資、エネルギー等の安定供給の確保を目的とする事業《公益目的事業》

(1) 経営基盤強化総合対策事業

① 各種セミナー

人材確保をはじめ、働き方改革、事故防止及び労働安全セミナー等を開催し、職場の労務管理や衛生管理に対する意識の高揚、過労運転や飲酒運転による重大事故の防止対策を図った。

	セミナー名	開催日	開催場所	出席者数
協会 主催	<運送事業者のための安全マネジメント研修会> ○ 運輸安全マネジメントと労働安全衛生マネジメントシステムの一体化による効果的な運用 講師：陸災防 安全管理士 田畑 裕司氏	R5. 10. 13	県ト協	35名
	<運行管理サポート機器等説明会> ○ 求荷求車情報ネットワーク「WebKIT」説明会 ～インターネットによる荷物のマッチングで輸送の効率化と働き方改革の推進～ 講師：南九州物流センター事務局長 池田 耕治氏	R5. 11. 30	県ト協	10名
	<36協定作成実務担当者セミナー> ○ 時間外労働の上限規制と改善基準告示、36協定届出について 講師：特定社会保険労務士 森 彰氏	R6. 2. 14 R6. 2. 20 R6. 2. 22	県北支部 都城支部 県ト協	29名 39名 63名
支部 主催	<中央北・中央南支部～合同セミナー> ○ 貨物自動車運送業の働き方改革の推進 講師：宮崎労働基準監督署、みやざき働き方改革推進支援センター、宮崎運輸支局の担当	R5. 11. 27 R5. 12. 8 ※午前午後各2回	県ト協	総計 98名
	<中央北・中央南支部～合同講習会> ○ 適正化事業課合同事故防止講習会 講師：宮崎南警察署交通課企画安全係長後藤香織氏 講師：金井コンサルティング事務所所長金井正俊氏	R6. 3. 12	県ト協	58名
	<県北支部～事故防止講習会> 講師：日向警察署 交通課 係長 凶師 拓磨氏 講師：南九州交通共済協同組合 係長 西 祐司氏 ” 係長 金子 司 氏	R5. 6. 21	大王谷コミュニティセンター	34名
	<県北支部～労務管理、労働災害防止説明会> 講師：延岡労働基準監督署監督課長 杉尾桂太郎氏 ” 安全衛生課長 田邊 圭 氏	R5. 11. 29	大王谷コミュニティセンター	20名
	<都城支部～輸送秩序協議会・管理職安全衛生教育講習会> 講師：宮崎運輸支局、都城警察署、都城労基署担当	R6. 2. 14	都城 ロイヤルホテル	72名



安全マネジメント研修会



36協定作業実務者セミナー



中央北・中央南支部合同セミナー

② 各支部及び各専門部会定例会等

各支部及び各専門部会の定例会等において、2024年問題への対応をはじめ、各種情報等の共有化、行政情報等の周知とともに、各部会毎で直面する課題解決等に向け他県との情報交換や関係機関等への要望活動などの活性化を図り、輸送サービスの維持・向上等に努めた。

◇ 定例会

	支部・部会名	行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
支 部 活 動	中央北支部	・第1回役員会	R5. 4. 11	県ト協
		・第35回定期総会	R5. 5. 16	県ト協
		・第2回役員会	R5. 7. 20	県ト協
		・第3回役員会	R5. 12. 13	県ト協
		・第4回役員会	R6. 3. 8	県ト協
	中央南支部	・第1回役員会	R5. 4. 20	県ト協
		・第35回定期総会	R5. 5. 19	ホテルマリックス
		・第2回役員会	R5. 8. 10	県ト協
		・第3回役員会	R5. 11. 22	県ト協
		・第4回役員会	R6. 3. 13	県ト協
	県北支部	・第1回役員会	R5. 4. 18	県北支部事務所
		・第57回定期総会	R5. 5. 11	大王谷コミュニティセンター
		・第2回役員会	R5. 8. 23	県北支部事務所
		・第3回役員会	R5. 11. 22	すし源(日向市)
		・第4回役員会	R6. 2. 28	県北支部事務所
都城支部	・第1回役員会	R5. 4. 14	都城支部事務所	
	・第2回役員会	R5. 5. 22	ホテル中山荘	
	・定期総会	R5. 5. 22	ホテル中山荘	
	・第3回役員会	R5. 7. 21	都城支部事務所	
	・第4回役員会	R5. 12. 13	そば処まる	
	・第5回役員会	R6. 3. 18	都城支部事務所	
専 門 部 会 活 動	木材輸送部会	・総会	R5. 5. 25	ホテルマリックス
		・第1回定例会	R5. 9. 8	ホテルマリックス
		・第2回定例会	R6. 2. 28	県ト協
	重機・ダンプ部 会	・第1回役員会	R5. 5. 12	県ト協
		・総会	R5. 6. 28	ホテルマリックス
		・定例会	R5. 10. 20	源太(延岡市)
		・第2回役員会	R5. 12. 7	県ト協
	定温輸送部会	・総会	R5. 6. 9	浜乃瀬
		・第1回役員会	R5. 8. 22	浜乃瀬
		・定例会	R6. 1. 18	杉の子
		・第2回役員会	R6. 3. 25	浜乃瀬
	飼料・畜産輸送 部会	・第1回役員会	R5. 5. 30	都城支部事務所
		・総会	R5. 6. 20	都城グリーンホテル
		・第2回役員会	R5. 9. 1	都城支部事務所
	タンクローリー 部会	・第1回役員会	R5. 5. 22	県ト協
・総会		R5. 6. 27	県ト協	
路線部会	・総会(交流会)	R5. 6. 23	ホテルメリージュ	
	・定例会	R6. 3. 19	ホテルメリージュ	
引越専門部会	・第1回役員会	R5. 5. 12	県ト協	

	支部・部会名	行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
専 門 部 会 活 動	引越専門部会	・総会	R5. 6. 26	浜乃瀬
		・第2回役員会	R5. 9. 27	浜乃瀬
		・定例会	R5. 12. 13	浜乃瀬
	セメント部会	・総会	R5. 6. 6	県ト協
	若葉会	・第1回役員会	R5. 5. 17	県ト協
		・総会	R5. 5. 20	県ト協
		・第1回九州大会実行委員会	R5. 6. 5	県ト協
		・第2回九州大会実行委員会	R5. 7. 4	県ト協
		・第1回定例会	R5. 8. 4	宮崎観光ホテル
		・第3回九州大会実行委員会	R5. 9. 14	県ト協
		・第2回役員会	R5. 10. 16	県ト協
		・第4回九州大会実行委員会	R5. 11. 21	県ト協
		・第2回定例会	R5. 11. 27	県ト協
		・第5回九州大会実行委員会	R5. 11. 27	県ト協
		・第3回定例会	R5. 12. 21	県ト協
		・第4回定例会	R6. 1. 20	県ト協
・第5回定例会	R6. 3. 1	県ト協		
創誠会	・総会	R5. 6. 8	杉の子	
	・定例会	R6. 1. 12	県ト協	
女性部会	・総会	R5. 8. 3	県ト協	

◇ その他の活動等

	支部・部会名	行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
支 部 活 動	中央北支部	・中央北・南支部ドラコン（8社、15名）	R5. 6. 3	梅田学園自動車学校日ノ出校
	中央南支部	・労働時間法制度中央北・中央南合同説明会（2日間開催）	R5. 11. 27	県ト協
			R5. 12. 8	県ト協
	県北支部	・第35回ドラコン(5社、9名)	R5. 6. 3	東九州自動車学校
		・事故防止講習会(34名)	R5. 6. 21	大王谷コミュニティセンター
		・高齢者交通安全講習会(28名)	R5. 11. 17	日向自動車学校
		・産業安全祈願祭	R6. 1. 10	今山八幡宮
	都城支部	・第35回ドラコン(12社、14名)	R5. 6. 3	警友自動車学校
		・高齢者交通安全講習会(17名)	R5. 9. 26	警友自動車学校
		・令和5年度都城・小林地区安全衛生推進大会(25社、29名)	R5. 9. 28	都城市高城生涯学習センター
		・高齢者交通安全講習会(23名)	R5. 9. 29	高齢者交流センター
		・トラックドライバー安全教育講習(7名)	R5. 9. 30	警友自動車学校
・トラックドライバー安全教育講習(10名)		R5. 10. 7	警友自動車学校	
・トラックドライバー安全教育講習(10名)	R5. 10. 14	警友自動車学校		
専 門 部 会 活 動	木材輸送部会	・令和6年度国庫補助によるグラップル付トラック導入に関する要望調査	R5. 5. 12	木材部会員 (20社)
		・南九州四県合同木材輸送部会「部長会議」	R5. 6. 17	アートホテル大分
		・南九州四県合同木材輸送部会「事務局担当者会議」	R5. 8. 24	大分センチュリーホテル
		・ひなたのみやざき材流通対策連絡会議	R5. 10. 25	宮崎県木材会館

	支部・部会名	行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
専 門 部 会 活 動	木材輸送部会	・第29回南九州四県合同木材輸送部会 大分大会	R5. 10. 13	ホテル日航大分
		・過積載絶滅運動推進大会	R5. 11. 1	県ト協
		・第2回延岡地区「トラックの森」植樹 祭参加	R5. 11. 18	延岡市岡富山
		・ひなたのみやざき材流通対策連絡会議 における木材市場現地調査、意見交換	R6. 3. 25	宮崎林産物流センター
	重機・ダンプ 部会	・宮崎県県土整備部への要望 (部会及び県内3ダンプ部会)	R5. 8. 28	県土整備部
		・宮崎県建設業協会役員との意見交換	R6. 1. 22	宮崎県建設業協会
		・九州ブロック重量部会の発足会	R6. 2. 13	福岡県トラック協会
	定温輸送部会	・第1回九州ブロック食料品部会	R5. 4. 5	福岡県トラック協会
		・第44回全ト協食料品部会総会	R5. 8. 1	全ト協
		・農産物の持続可能な輸送体制確立に向 けた研修会	R5. 8. 7	J A アズムホール
		・福ト協食料品部会全体会議	R5. 9. 8	北九州青果
		・第2回九州ブロック食料品部会	R5. 9. 29	八仙閣(福岡県)
		・九州各県ト協食料品部会全体交流会	R5. 9. 29	八仙閣(福岡県)
		・みどりナンバー輸送PR旬間	R5. 12. 11 ~ 12. 20	宮崎市中央卸売市場
		・熊ト協食料品部会研修会	R6. 2. 14	ザ・ニューホテル熊本
	・全ト協食料品部会研修会	R6. 3. 15	全ト協	
	飼料・畜産輸 送部会	・鹿児島県・宮崎県飼料・畜産輸送部会 合同役員会	R5. 9. 8	曾於市末吉町
		・鹿児島・宮崎県合同部会による国への 要望書提出、全ト協ヒアリング	R5. 10. 10	森山衆議院議員 農林水産省畜産局 全日本トラック協会
		・鹿児島・宮崎県合同部会	R5. 11. 17	ホテルグランド鹿児島
		・畜産飼料流通に関する意見交換会(県 主催)	R5. 12. 21	宮崎県防災庁舎
・第1回九州ブロック飼料畜産部会		R6. 2. 28	福岡県トラック協会	
・畜産飼料流通に関する課題解決のため の情報連絡会(県主催)	R6. 3. 19	宮崎県防災庁舎		
引越専門部会	・引越管理者基本講習	R5. 9. 11	鹿児島県ト協	
	・引越管理者講習	R5. 9. 12	鹿児島県ト協	
	・トラックの日スペシャルマッチ	R5. 10. 1	ユニーバスタジアム新富	
	・九州5県引越部会合同研修会	R5. 11. 2	ホテルマリックス	
	・引越フェア(KaradaGood Miyazakiフェア)	R5. 11. 5	J A ・ A Z M	
	・MRTラジオ「明日が見えるラジオ」出演	R6. 3. 1	M R T	
セメント部会	・四県合同セメント部会	R5. 9. 21	アートホテル大分	
若葉会	・九運青協第1回役員会	R5. 4. 12	T K P 熊本カンパ ァレンスセンター	
	・九運青協第2回役員会	R5. 5. 29	宮崎観光ホテル	
	・大宮中学校出前授業	R5. 6. 29	大宮中学校	
	・鹿児島・熊本・宮崎三県交流会	R5. 8. 18	鹿児島県	

	支部・部会名	行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
専 門 部 会 活 動	若葉会	・九運青協第3回役員会	R5. 9. 14	八仙閣(福岡)
		・九運青協第4回役員会	R5. 12. 11	MR T m i c c
		・全ト協青年部会九州ブロック大会	R6. 1. 26	宮崎観光ホテル
		・全ト協青年部会全国代表者会議	R6. 2. 16	京王プラザホテル
	創誠会	・第53回全国トラック運送事業経営研究集会	R5. 9. 22	グランメッセ群馬
	女性部会	・全ト協女性部会全国代表者協議会	R5. 7. 19	全ト協
		・九州ブロック女性協議会第1回役員会	R5. 7. 19	全ト協
		・夏休み日帰り親子バスツアー	R5. 8. 3	県北支部管内
		・九州ブロック女性協議会第2回役員会	R5. 9. 14	クオーレ長崎駅前
		・全ト協女性部会全国研修会	R5. 10. 13	明治記念会館
・「Karada Good Miyazakiフェスタ2023」参加		R5. 11. 5	J A A Z M	
・「第2回延岡地区植樹祭」参加	R5. 11. 18	延岡市岡富山		
・九州ブロック研修会 in Kumamoto	R5. 11. 24	ザ・フォレストテラス熊本		
・九州ブロック女性協議会第3回役員会	R6. 2. 16	沖縄県トラック協会		



第29回南九州四県合同
木材輸送部会大分大会



重機・ダンプ部会による県建設業
協会役員との意見交換会



若葉会による出前授業
(大宮中学校)

③ 第28回全国トラック運送事業者大会

本年度は北海道トラック協会の担当で、10月4日に札幌市(札幌パーク)で開催された。全国から1,250名、本県からも牧田会長をはじめ、協会及び支部役員など13名が参加した。シンポジウムでは「2024年問題への挑戦」をテーマに活発な意見交換が行われ、記念講演のあと大会決議の採択、ガンバローコールとともに次年度開催地(熊本市)である九州ブロックの馬渡会長が挨拶され、懇親会でも他都道府県トラック協会の参加者との情報交換等により交流を深めた。



第28回全国トラック運送事業者大会(坂本会長あいさつ、県ト協参加者、懇親会会場)

④ 業界の課題解決に向けた要望・陳情活動等（再掲）

国や県選出国會議員に対する要望活動とともに、県知事や県議会に対し令和6年度予算や燃油高騰対策などの県政要望を積極的に展開し、業界の課題解決を図った。

実施日	要望・陳情内容	要望先	参加者等
R5. 5. 15	・燃油高騰対策の継続実施（1回目） （トラック・バス・タクシー協会合同）	河野宮崎県知事	会長、副会長 常務 2者の会長他
R5. 7. 28	・令和6年度県政要望等	自民党県議団	政策研会長、 副会長、常務
R5. 11. 24	・燃油高騰対策の継続実施（2回目） （トラック・バス・タクシー協会合同）	河野宮崎県知事 濱砂県議会議長	会長、副会長 専務 2者の会長他
R5. 11. 27	・令和6年度トラック関係施策に関する要望 （衆・参議員会館）	古川・武井衆議 院議員、長峯・ 松下参議院議員	会長、副会長 専務
R5. 11. 27	・令和6年度トラック関係施策に関する要望 （ホテルポール麴町）	江藤衆議院議員	会長、副会長 専務
R6. 1. 19	・Gマーク認定事業者及び引越安心マーク認定事業者の優先利用についての要望	宮崎商工会議所 連合会会頭	専務理事 宮崎支局長
R6. 1. 29	・燃料価格高騰に関する日向市管内トラック運送業界からの要望（県ト協会長・県北支部長）	十屋日向市長	理事、専務

⑤ 確固たる協会組織の基盤づくり

宮崎運輸支局と連携し、県及び国土交通省（宮崎河川国道事務所）、県商工会議所連合会等に対し、Gマーク認定取得事業所への理解と県発注公共工事をはじめとするGマーク車両の優先使用に係る指導要請活動を展開するとともに、新たに九州ブロック重量部会が発足し、本県重機・ダンプ部会も参画した。

また、飼料・畜産輸送部会では、鹿児島県トラック協会と連携し、配合飼料輸送に係る安全性の確保等について農林水産省畜産局長等への要望活動を行うとともに、畜産の盛んな九州・沖縄ブロック全体での活動を展開するため、九州トラック協会内に飼料畜産部会の設立に至った。さらに、宮崎県主催の畜産飼料輸送に係る関係機関・団体・行政参加の連絡会が発足し、本年度2回開催され、配合飼料輸送に係る安全性確保をはじめとする課題等や先進事例等の情報共有等が図られ、畜産配合飼料輸送の改革の一步を踏み出した。

<重機・ダンプ部会>

実施日	要望・陳情内容	要望先	参加者等
R5. 8. 28	・燃料価格高騰に伴う公共工事関係の適正な設計単価の設定に関する要望	県土整備部	重機・ダンプ 部会長 3ダンプ組合 理事長他
R6. 1. 19	・輸送依頼に係るGマーク事業者の優先利用のお願いについて	宮崎商工会議所 連合会	運輸支局長、 県ト協専務
R6. 3. 14	・特殊車両通行許可条件におけるC条件緩和に関するお願い ・特殊車両通行許可申請に係る個別審査期間短縮等のお願い	国交省宮崎河川 国道事務所	重機・ダンプ 部会役員

実施日	要望・陳情内容	要望先	参加者等
R6. 3. 14	・公共工事に伴うダンプカー輸送に関するお願い ・公共工事に伴う建設機械運搬に関するお願い ・特殊車両の通行許可等に係る道路関係情報のデジタル化推進のお願い	県土整備部	重機・ダンプ 部会役員
R6. 3. 14	・一ツ葉有料道路北線における料金所付近の道路 拡張のお願い	宮崎県道路公社	重機・ダンプ 部会役員

<飼料・畜産輸送部会>

実施日	要望・陳情内容	要望先	参加者等
R5. 10. 10	・鹿児島県・宮崎県飼料・畜産輸送部会による配 合飼料運搬に係る安全性確保等の要望	森山衆議院議員 農林水産省 畜産局長 飼料課長 全ト協	両県の部会長 両県ト協の 専務理事



重機・ダンプ部会の要請活動



Gマーク車両の優先使用要請活動



飼料・畜産輸送部会の農水省要望

(2) 交通安全・事故防止対策事業

① 総合的な事故防止対策の推進

国の「事業用自動車総合安全プラン2025」及び全日本トラック協会の「トラック事業における総合安全プラン2025」に基づき、総合的な事故防止対策を推進した。

◇ 交通事故防止研修会

セミナー名	開催日	開催場所	出席者数
<プラン2025目標達成フルセミナー> 講師：SOMPOリスクマネジメント(株) シニアコンサルタント 土谷 隆司氏	R5. 11. 7	県ト協	11名

また、令和5年11月24日に交通事故・労働災害防止総決起大会(70名参加)を県ト協で開催し、基調講演では実際発生した事故映像を活用して交通事故防止の意識啓発を図った。

② 交通事故防止のための事業所への講師派遣・啓発活動等支援

会員事業所が実施する事故防止講習会への講師派遣、並びに講師料の一部助成を実施し、延べ37社496名に対して安全運転、事故事例、防止対策等に係る集団指導を実施した。

また、協会では、会員事業所での交通安全の啓発活動を支援するため、各種交通安全教育用DVDの充実を図り、適性診断機器とともに貸し出し等を行った。

③ 事故防止対策委員による交通安全パトロール

各支部委員（10名）と県ト協支部職員が、春の交通安全運動期間中（155事業所）及び秋の交通安全運動期間中（160事業所）に訪問活動による実効性のあるパトロールを実施するとともに、各事業所におけるポスターや幟の掲示等を確認し、交通安全に対する意識の高揚を図った。

④ 交通事故防止コンクール

県・県警本部・宮崎運輸支局・宮崎労働局が後援する「交通事故防止コンクール」において3名1組でチームをつくり、無事故・無違反をグループで競うことにより、運転者のモラル向上及び事故防止意識の高揚を図った結果、無事故達成率も94.3%で昨年度を3.2%上回った。

実施期間	参加チーム数	無事故・無違反達成チーム数	達成率
R5.6/15～12/31	942チーム	889チーム	94.3%

⑤ 各種交通安全キャンペーンへの参加及び啓発活動等の推進

各行政機関や団体等が行う交通安全運動に積極的に参加するとともに、協会会員や関係機関等の参加の下、過積載絶滅運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検、飲酒運転根絶強化月間等におけるキャンペーン活動等を展開した。

運動名	活動内容等
春の全国交通安全運動 < 5/11～ 5/20 >	交通安全運動開始式参加（会場：県庁）、パトロール155事業所 ポスター580枚作成・配布、MRTラジオスポットCM、新聞での交通安全広告掲載（4紙）
飲酒運転根絶強化月間 < 7/ 1～ 7/31 >	飲酒根絶運動のぼり200枚作成、ポスター580枚作成、飲酒運転根絶街頭キャンペーン、MRTラジオスポットCM、新聞広告掲載（3紙）
秋の全国交通安全運動 < 9/21～ 9/30 >	交通安全運動のぼり600枚作成、交通安全運動開始式参加（会場：県庁）、ポスター580枚作成・配布、パトロール160社、MRTラジオスポットCM、新聞広告掲載（3紙）
過積載絶滅運動 < 11/ 1～11/30 >	推進大会（11/1、県ト協）、MRTラジオスポットCM、ポスター650枚作成、フライヤー800枚作成・配布
冬の交通安全県民総ぐるみ運動 < 12/ 1～12/10 >	県民総ぐるみ運動開始式参加（アミュプラザ）、ポスター580枚作成・配布、MRTラジオスポットCM、FM宮崎・ケーブルTVスポットCM放送、新聞広告（3紙）
年末年始の輸送等に関する安全総点検 < 12/10～1/10 >	ポスター560枚作成・のぼり600枚作成・配布、MRTラジオスポットCM



秋の全国交通安全運動開始式



過積載絶滅運動推進大会（ヴァリアスも応援）



年末年始の輸送等の安全総点検

⑥ トラックドライバー・コンテスト

7月1日（土）に梅田学園自動車学校佐土原に於いて、第39回目の県大会を開催し、2トン、4トン、11トン、ダンプ、トレーラの5部門で24名の選手が優勝を目指し、競技が繰り広げられた。

各部門の優勝者は下記のとおりで、総合第1位（一ノ瀬選手）に宮崎県交通安全対策推進本部長賞、第2位（茂選手）に宮崎運輸支局長賞、第3位（高山選手）に宮崎県警察本部交通部長賞が贈られるとともに、10月の茨城県で開催された全国大会に選手3名（河野・高山・一ノ瀬選手）が出場し、11トン部門の高山選手が部門5位入賞を果たした。

部 門	氏 名	支部名	会 社 名
2トン部門	坂本 和義	中央北	日豊輸送(株)本社営業所
4トン部門	河野 徹	県 北	センコープランテック(株)大武機工営業所
11トン部門	茂 修平	県 北	センコー(株)延岡支店延岡車輛営業所
ダンプ部門	多田 勇希	中央北	矢野運輸(株)
トレーラ部門	一ノ瀬 真	県 北	センコー(株)延岡支店延岡車輛営業所
特 別 賞	福山美和子	中央北	(株)シンクラン宮崎北営業所



ドラコン県大会(筆記試験)



実技試験



県大会総合優勝 上位3名

⑦ 安全運転研修

ドライバーの安全意識や運転技術の向上等を目的とした各種研修や、運行管理者の責任の明確化と資質向上による運転者の管理徹底を図るための講習会の受講者に対し助成を行った。

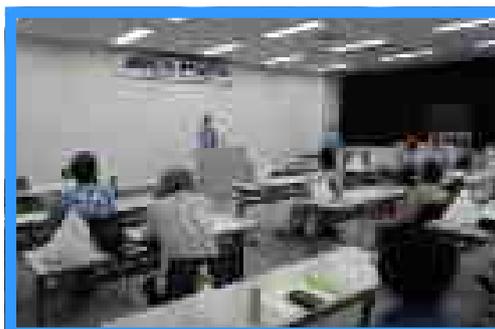
開 催 日	開 催 場 所	研修機関	出席者数
R5. 4. 22 ~ 4. 23	ドライビングアカデミーMIYUKI	同左	20名
R5. 5. 13 ~ 5. 14	ドライビングアカデミーONGA	同左	2名
R5. 5. 15	梅田学園交通安全教育研修所	同左	4名
R5. 5. 16	梅田学園交通安全教育研修所	同左	4名
R5. 5. 22	梅田学園交通安全教育研修所	同左	4名
R5. 5. 23	梅田学園交通安全教育研修所	同左	4名
R5. 5. 27 ~ 5. 28	ドライビングアカデミーONGA	同左	2名
R5. 5. 27 ~ 5. 28	ドライビングアカデミーMIYUKI	同左	11名
R5. 6. 5	梅田学園交通安全教育研修所	同左	5名
R5. 6. 6	梅田学園交通安全教育研修所	同左	3名
R5. 6. 8 ~ 6. 9	梅田学園交通安全教育研修所	同左	2名
R5. 6. 10 ~ 6. 11	ドライビングアカデミーONGA	同左	2名
R5. 6. 19	梅田学園交通安全教育研修所	同左	4名
R5. 6. 20	梅田学園交通安全教育研修所	同左	4名
R5. 7. 1 ~ 7. 2	ドライビングアカデミーONGA	同左	3名
R5. 7. 6 ~ 7. 7	梅田学園交通安全教育研修所	同左	3名

開催日	開催場所	研修機関	出席者数
R5. 7. 22 ~ 7. 23	ドライビングアカデミーMIYUKI	同左	17名
R5. 9. 23 ~ 9. 24	ドライビングアカデミーMIYUKI	同左	8名
R5. 10. 12 ~ 10. 13	梅田学園交通安全教育研修所	同左	5名
R5. 10. 21 ~ 10. 22	ドライビングアカデミーONGA	同左	1名
R5. 10. 21 ~ 10. 22	ドライビングアカデミーMIYUKI	同左	7名
R5. 11. 18 ~ 11. 19	ドライビングアカデミーMIYUKI	同左	5名
R6. 1. 20 ~ 1. 21	ドライビングアカデミーONGA	同左	1名
合	計		121名

⑧ 高齢者交通安全講習会

県警本部交通企画課、南警察署及び自動車メーカー等の協力を得て、交通安全教育車や被害軽減ブレーキ等を搭載したサポカーの試乗会、高齢者が日常の移動手段として活用できるセニアカーの試乗体験や交通安全講習に関する高齢者講習会を春・秋に開催し、合計55名の高齢者に参加いただき、高齢者の交通事故防止に寄与した。

開催日	開催場所	出席者数
R5. 4. 25	宮ト協 総合研修会館	高齢者17名
R5. 9. 26	宮ト協 総合研修会館	高齢者38名



高齢者講習会（県警による全体説明）



交通安全教育車の試乗体験



セニアカーの試乗体験

⑨ 交通安全・事故防止対策に係る各種助成事業等

安全装置やアルコール検知器の導入、トラックドライバーの適性診断の受診、運転記録証明書の取得など、事故防止に係る機器の導入や諸活動等に対して助成を行った。

助成事業名（交付金会計分）	助成実績	助成額
安全機器等の導入	ドライブレコーダー機器導入促進助成	23社 92台 ② 920,000円
	安全装置等導入助成	32社 94台 ③ 1,970,000円 ④ 850,000円
運転記録証明書助成	5,392名 ② 3,612,640円	
運行管理者研修（一般講習）助成	729名 ② 2,332,800円	
運行管理者基礎講習助成	173名 ② 1,539,700円	
睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査助成	23社 515名 ③ 1,287,500円	
	500名 ④ 1,250,000円	
アルコール検知機器導入助成	39社 203台 ② 1,087,000円	
ドライバー等安全教育訓練助成	121名 ③ 1,082,000円	
	④ 3,367,100円	
事故防止対策講習会講師派遣助成	延べ37社、496名 ② 777,860円	

助成事業名(交付金会計分)		助成実績	助成額
適性診断推進助成	自動車事故対策機構	2,093名	Ⓔ 7,250,400円
	みゆき学園	398名	Ⓔ 1,694,400円
自動点呼機器導入促進助成		4社 5台	Ⓒ 500,000円
合 計			Ⓒ 4,839,500円 Ⓔ 24,681,900円

※ 助成額のⒸは全ト協助成分、Ⓔは県ト協助成分。(以下同じ)

また、昨年度から健康診断助成は、1人当たり2,000円に引き上げたことから助成申請者数も増加し、一般会計予算からも健康診断助成や教育講習(フォーク)助成を実施した。

助成事業名(一般会計分)	助成実績	助成額	
健康診断助成	7,097名	交付金会計	Ⓔ 8,194,000円
	6,000名	一般会計	Ⓔ 6,000,000円
脳・心臓ドック検診助成助成	7社、21名		Ⓔ 105,000円
教育講習(フォーク)助成	81名		Ⓔ 810,000円
合 計			Ⓔ 15,109,000円

⑩ 新入学児童への交通安全啓発用品及び交通遺児寄付金の贈呈

県内の新入学児童(市町村立小学校、宮大附属小学校、県立特別支援学校)に対し、県・市町村教育委員会を通じ、トラック輸送への理解と交通安全意識啓発のための交通安全教材(交通標識入り定規、対象学校数246校)10,000本と県ト協パンフレット等を配布した。

また、宮崎県交通安全対策推進本部の総会(R6.2.13開催)において、牧田会長から反射材付マスコット人形3,000個及び、交通遺児寄付金30万円(チャリティゴルフの義援金)を本部長である河野宮崎県知事に贈呈した。

(3) 地方貨物自動車運送適正化事業

① 輸送秩序確立

令和5年度の年間を通して輸送秩序確立に向けた会員事業所に対する巡回指導及び部会活動等をはじめ、機会ある毎に法令遵守の徹底・指導に取り組んだ。また、一般消費者、運送事業者、関係事業者等からの苦情を受け付け、対象事業所に対し改善に向けた指導を随時行った。

② 適正化事業連絡会幹事会

宮崎運輸支局との連携のもと、毎月の巡回指導の実施結果及び計画について報告し、運輸支局が実施した監査状況や行政処分などについて情報交換を行うとともに、前回の巡回指導評価がD・Eとなった事業所に対する対応、運輸支局と適正化事業課がお互いに受けた苦情対応などの情報共有と今後の指導の在り方等について協議した。

③ 適正化事業連絡会議本会議

令和5年度の適正化事業業務の進捗状況、適正化事業実施機関の事業計画(案)、運輸局・支局における監査結果等について協議・報告を行った。

開催日	開催場所	出席者数
R5. 6.13	宮崎運輸支局	11名
R6. 1.24	宮崎運輸支局	9名

④ 適正化事業評議委員会

委員 6 名に対し、適正化事業の業務進捗状況及び地域実情に即した課題等を諮るとともに、業界全般の意見・提言等の聴取による適正化事業の公正かつ適切な運営を行った。

また、本年度は 2024 年問題に係る国の動きや県ト協の取り組み等の情勢報告を踏まえた意見交換が活発に行われた。

開催日	開催場所	出席者数
R5. 11. 14	県トラック協会	12名
R6. 3. 18	宮崎観光ホテル	12名



評議委員会(11月開催)



三好委員長



評議委員会(3月開催)

⑤ 安全性評価事業 (Gマーク制度)

令和 5 年度は G マーク制度創設から 20 年が経過し、申請要領の変更もあったため、説明会には多くの事業所が参加した。新規取得の事業所は少なかったものの、6 回目までの更新を含めて認定事業所は 131 事業所、累計で 398 事業所で、事業所認定率が 51.0% となり、4 年連続の認定率日本一の座を死守するとともに、未だ取得率が 5 割を超えているのは宮崎県のみとなっている。

また、G マーク制度の更なる普及・拡大を図るために、新聞等のマスコミ媒体や「G マークラッピングトラック」1 台を新設し、合計 6 台で「走る広告」として PR 活動を展開した。

さらに、県及び県建設業協会、県商工会議所連合会、各荷主等に対し、G マーク取得事業所への理解促進と県発注公共事業における G マーク車両の優先使用指導に係る要請活動等を実施した。

認定事業所数									事業所認定率	
新規	初回更新	2回目更新	3回目更新	4回目更新	5回目更新	6回目更新	R5年度合計	累計(件)	R5年度(%)	R4年度(%)
11	33	28	12	15	14	18	131	398	51.0	51.2

(注) 事業所認定率の前年度比 0.2% 減は、新規入会事業所の増によるもの。



G マーク認定申請説明会



G マーク認定申請の協会受付



G マークラッピングトラック

⑥ 過積載絶滅運動

宮崎運輸支局主催の決起大会、過積載取締りなどを実施するとともに、長年の懸案である木材運搬に係る過積載の対策について、県山村・木材振興課及び林業関係機関・団体（県森連、県木連、県素生協）との連携による絶滅運動の強化に向けた検討会を重ね、令和5年度に関係機関参集による連絡会議が発足した。

<ひなたのみやざき材流通対策連絡会議の設置目的>

森林・林業・木材産業の発展や持続可能な開発目標（SDGs）への貢献に向けて、林業・木材産業に関わる関係者が、法令遵守や環境への配慮など「持続可能な資源の循環」の一翼を担う業界として、安全・安心なみやざき材の流通及び利用の更なる推進を図る。

開催日	会議内容	開催場所	出席者数
R5. 10. 25	第1回ひなたのみやざき材流通対策連絡会議	宮崎県木材会館	12名
R5. 11. 1	宮崎県過積載絶滅運動推進大会	県ト協	100名
R6. 3. 25	ひなたのみやざき材流通対策連絡会議木材市場調査	宮崎林産物流センター	9名



過積載絶滅運動推進大会



林業関係団体の過積載禁止看板



過積載絶滅推進運動の横断幕等

⑦ 運行管理者試験対策事前講習会

運行管理者国家試験対策の事前講習について、受講者を対象に開催したが、県全体の合格率は約31%で全国平均をやや下回った。

開催日	開催場所	受講者数	宮崎県全体合格率
R5. 7. 23	県ト協 および WEB開催	57名	31.0% (58/187名)
R6. 2. 25	県ト協 および WEB開催	50名	31.3% (56/179名)

⑧ 「標準的な運賃」活用セミナー

標準的な運賃の活用のため、標準的な運賃を踏まえた原価計算、運行形態別運賃の考え方、荷主との交渉方法等についてのセミナーを開催した。

セミナー名	開催日	開催場所	出席者数
<「標準的な運賃」活用セミナー> 講師：近代経営システム研究所 代表 森高 弘純 氏	R5. 11. 21	県ト協	29名

⑨ 「標準的な運賃」に係る荷主への要請活動

会員事業所に対し、「標準的な運賃」の届出と活用を推進するとともに、九ト協で制作した働き改革や物流危機などトラック業界の現状や標準的な運賃の告示内容等を網羅したパンフレットについて、荷主向け（3,500部）、会員事業向け（1,500部）を各会員事業所や

荷主等に配布し、積極的な運賃交渉による適正収受等を推進した。

「標準的な運賃」届出件数 宮崎県：94.8%、全国平均：81.5%(R6年2月末現在)

⑩ 巡回指導

令和5年度の巡回指導は193事業所で実施したが、年度前半はGマーク取得予定事業者の事前指導も一緒に行い、年度後半はD・E評価事業所を重点的に巡回し、計画(204件)に対する実施率は94.6%であった。

また、巡回指導実績では、運行管理等に係る指摘が263件と多く、次いで車両管理(74件)、労基法等(56件)と続いた。

◇ 巡回実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	12	5	20	9	24	21	33	16	11	13	13	16	193件

◇ パトロール実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	8	3	11	7	13	12	17	9	6	8	8	9	111件

ア) 巡回指導実績

指 導 項 目	指導件数 (件)
・事業計画に等に係る指摘	11
・帳票等の整備報告等に係る指摘	28
・運行管理等に係る指摘	263
・車両管理等に係る指摘	74
・労基法等に係る指摘	56
・法定福利費にかかる指摘	7
・運輸安全マネジメントに係る指摘	32
合 計	471

イ) 実施結果評価一覧表

	事業所数	構 成 比
A	68	35.2%
B	65	33.7%
C	36	18.7%
D	11	5.7%
E	5	2.6%
その他	8	4.1%
計	193	100.0%

⑪ 適正化事業研修会

2024年問題に対応するための「経営課題解決セミナー」を開催し、講師の滝澤労務士により、時間外労働の上限規制や改正改善基準告示に関する運用解釈について周知徹底を図るとともに、法令遵守や事故防止の啓発に努めた。

⑫ 適正化指導員の資質向上

本県及び鹿児島・沖縄の両県と合同で例年開催している適正化事業指導員合同研修会が、令和5年9月14日に沖縄ハーバービューホテル(那覇市)において開催された。

全体で15名が参加し、全ト協の講師の下活発な研修や3県の適正化指導員による積極的な意見交換が行われた。

⑬ 苦情処理への適正・迅速な対応

一般消費者等からの運転マナーやドライバー等からの長時間労働などの苦情、相談に対し適正かつ迅速に対応し、早期解決に努めた。

苦情件数は前年度より増加したが、特に、運転マナーについては、事業所などの運行管理者に対し乗務員教育の徹底を指導し、早期改善を図った。

＜令和5年度 月別苦情件数の推移＞

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考 (R4実績)
運転マナー	3	4	4	3	2	3	3	1	5	1	6	3	38件	24件
労働関係	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2件	1件
その他	2	1	1	1	4	1	2	1	1	1	1	3	19件	23件
合計	5	6	5	4	6	4	5	2	7	2	7	6	59件	48件



運行管理者試験対策事前講習



適正化指導員の隣県合同研修会



適正化指導員による巡回指導

(4) 環境・エネルギー対策事業

① SDGs（持続可能な開発目標）への対応

県ト協では、令和5年4月に協会独自の「SDGs宣言」を公表し、会員事業所への「SDGs宣言事業者登録」を推進した結果、21社からの登録申請があり、7月24日（月）には県ト協理事会での承認決議を経て、第1回SDGs宣言書の交付式を開催した。

また、県内におけるSDGsの普及啓発及び連携・協働促進を目的に産学金労官連携の場として設立された「みやざきSDGsプラットフォーム」の会員として参画しており、当協会活動等がホームページに掲載されるとともに、全ト協の広報誌等でも広く紹介された。

＜第1回SDGs宣言登録事業者：令和5年7月24日 登録証交付＞

(株)キング運輸	＜宮崎市＞	G T エナジー(有)	＜都城市＞
新日本ロジ(株)	＜宮崎市＞	草水運送(株)	＜都城市＞
宮崎運輸(株)	＜宮崎市＞	都城運輸(株)	＜都城市＞
(株)古川興業	＜宮崎市＞	(有)昇栄運送	＜都城市＞
合同会社ティープラス	＜宮崎市＞	(株)桐原商事	＜三股町＞
(株)戸高物流	＜宮崎市＞	(株)トミシマ	＜日向市＞
井上運輸(株)	＜国富町＞	(株)長野トランスポート宮崎営業所	＜日向市＞
(有)山下商事	＜川南町＞	旭運輸(有)	＜延岡市＞
(株)マキタ運輸	＜都城市＞	(株)ダイユウ	＜延岡市＞
(株)マキタエクスプレス	＜都城市＞		

＜第2回SDGs宣言登録事業者：令和5年9月1日 登録証交付＞

(有)佐土原運送	＜宮崎市＞	(株)中央運送	＜都城市＞
----------	-------	---------	-------



第1回SDGs宣言書交付式



全ト協による会員事業所取材

② 「トラックの森」整備事業

地球温暖化防止と環境負荷軽減対策等に対するトラック業界の積極的な姿勢をアピールするため、平成16年度に整備を始めた第1期トラックの森（川南地区：5.2ha）に続き、昨年度から着手した第2期トラックの森づくりにおける第2回目の植樹祭を実施した。

本年度も県の「企業の森づくり制度」を活用し、11月18日（土）に延岡市＜岡富山植栽地：1.72ha（累計3.52ha）＞において、会員事業所や延岡市立東海東小学校みどりの少年団をはじめ、地元延岡市や森林組合、県緑化推進機構など120名を超える参加者が参集した。

記念植樹ではソメイヨシノを、一般参加者はヤマザクラ1,200本を、残りの面積は森林組合への委託により植栽した。来年度以降も周辺植栽地の協定面積を拡大しながら、将来的には一般県民に開放できる「ヤマザクラの郷づくり（仮称）」を目指すこととしている。

なお、2年間の植樹活動により、宮崎県から二酸化炭素森林吸収見込量84t-CO₂が認証されている。



第2期トラックの森(延岡地区) 第2回植樹祭 (記念植樹、一般植樹、参加者の記念撮影)

③ モーダルシフトの推進

本県の基幹産業である農林水産物を大消費地に届け、外貨を稼ぐためには長距離貨物トラック輸送が主流であることから、担い手不足や2024年問題を踏まえ、県や(株)宮崎カーフェリー、荷主であるJA宮崎経済連及び農業法人協会、県ト協が参画する「みやざき農の物流DX推進協議会」を核に、カーフェリーを活用した課題検証をはじめ、労働時間のルールに対応した輸送体制づくりや物流の効率化・荷役作業の省力化等に関する調査・実証試験を行った。

また、宮崎牛の生体輸送（東京芝浦市場）に係るカーフェリーを活用した実証調査事業を県から受託し、実証試験等の結果、特に暑熱期の高温緩衝や輸送時の肉用牛の事故発生リスクの軽減につながり、2024年問題解決への一助となる成果が得られた。

④ エコドライブの徹底及び環境対応車の普及に向けた各種導入助成事業等

会員事業者の低公害車等の環境対応車両導入をはじめ、環境対策や省エネルギー対策及びグリーン経営認証登録などに係る助成金を交付した。

助 成 事 業 名	助 成 実 績	助 成 額
アイドリングストップ支援機器導入助成	1社、2台	Ⓞ 20,000円
低公害車導入促進助成金事業	22社、45台	Ⓞ 3,180,000円
EMS機器導入助成	14社、75台	Ⓞ 750,000円
グリーン経営認証制度促進助成事業	12営業所	Ⓞ 600,000円
合 計		Ⓞ 4,550,000円

(5) 労働・労務対策事業

① トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会

取引環境の改善や長時間労働の抑制等の環境整備を図るため、トラック運送事業者、荷主、経済団体、労働団体、行政機関などの関係者が一堂に会する「宮崎県地方協議会」において、各種情報等の共有化を図った。

特に本年度は、2024年問題に係る各関係機関からの取組状況等が情報提供され、当協会では総決起大会や会員事業所の2024年問題へアンケート結果等を報告し、みやざきにおける物流課題と今後の在り方等についての意見交換を行った。

② 安全マネジメント研修会（再掲）

陸運事業者が取り組むべき「運輸安全マネジメント」と「陸運業における労働安全マネジメントシステムガイドライン」の2つを一体的に運用し、事故や災害リスクを減らし、安全衛生のレベルアップを図るための研修会を陸災防と共催で開催した。

セ ミ ナ ー 名	開 催 日	開 催 場 所	出 席 者 数
安全マネジメント研修会	R5.10.13	県ト協総合研修会館	35名

③ 働きやすい職場認証取得の推進

「働きやすい職場認証制度一つ星（継続）・二つ星」の認定取得のサポートを行うとともに認定推進機関による個別の申請アドバイス等を実施した。また、認証取得審査・登録料の一部について、全日本トラック協会と協調して助成金を交付した。

助 成 事 業 名	助 成 実 績	助 成 額
働きやすい職場認証制度取得助成	一つ星（継続含む）	10社 Ⓞ 420,000円
	二つ星	7社 Ⓞ 170,000円

④ 労務相談窓口の設置と各種相談業務の実施

協会で顧問契約を締結している社会保険労務士による、会員事業所からの労働問題に関する相談業務を行うとともに、協会広報誌に労務管理・人事管理に関するコラムを毎号掲載し、会員に対し広く情報提供を行った。

また、令和6年4月から施行される時間外労働規制に対応するため、実務担当者を対象に「36協定作成セミナー」を県下3地区（宮崎市・日向市・都城市）で開催し、喫緊の対応課題であったことから総勢131名の参加があった。

⑤ 労務改善等に関する各種助成事業等

会員事業所の働きやすい職場認証制度の認証取得や従業員の大型をはじめとする免許取得に係る助成を行った。なお、令和5年度は若手ドライバー育成を目的として、大型免許取得が満30歳以下の助成金額を増額した。

助 成 事 業 名	助 成 実 績	助 成 額
免許取得助成	特別教育1(名)	④ 84,800円
	大型24, 中型10, けん引7(名)	⑤ 2,450,741円

(6) 緊急物資輸送対策事業

① 能登半島地震被災地への緊急支援物資の輸送等

令和6年1月1日に発生した能登半島地震被災地への緊急支援物資輸送について、小林市からの要請を受け、石川県能登町へ通算5回輸送支援を行った。

具体的には能登町から小林市に毎回依頼のあった緊急物資について、会員事業所に貨物トラック（7t車両：被災地が道路寸断のため大型トレーラー等の運送は不可であった。）とドライバーを準備いただき、（株）宮崎カーフェリーの協力の下、神戸まで海上輸送し、その後は陸送により被災地までの搬送を支援した。

また、全ト協を通じて、石川県トラック協会に災害見舞金50万円を贈呈した。

第1回：1月4日、第2回：1月10日、第3回：1月19日、第4回：2月21日 第5回：3月28日

② 災害物流専門家研修の開催

本年度から災害物流専門家を育成するため、NX総合研究所の講師を招聘し、「基礎編」、「拠点編」、「輸送編」、「自治体対応編」、「演習」の研修項目を2日間にかけて開催し、会員事業者のみならず県内各自治体からの参加もあり、大規模災害時の対応と連携の重要性を学んだ。

セ ミ ナ ー 名	開 催 日	開 催 場 所	出 席 者 数
災害物流専門家研修会	R5. 9. 6 ～ 9. 7	県ト協総合研修会館	会員事業者 6名(6事業者) 自治体 9名(7自治体)

③ 総合防災訓練等の参加

県及び各市町村と締結している「災害時の物資等緊急輸送に関する協定」に基づき、宮崎県や宮崎市主催の総合防災訓練や調整会議等に参加した。県の総合防災訓練では児湯郡の会員3事業者の協力の下、陸・海上自衛隊と連携して緊急物資輸送訓練を行った。

訓 練 等 名	開 催 日	開 催 場 所
宮崎県総合防災訓練第1回調整会議	R5. 7. 6	高鍋中央公民館
宮崎県総合防災訓練第2回調整会議	R5. 8. 25	宮崎県防災庁舎
宮崎県総合防災訓練第3回調整会議	R5. 10. 19	宮崎県防災庁舎
宮崎県総合防災訓練	R5. 11. 6	小丸川河畔河川敷 他
宮崎市総合防災訓練研究会	R6. 1. 15	宮崎県防災庁舎



能登半島地震緊急物資搬送（小林市）



災害物流専門家研修



県総合防災訓練（高鍋町）

④ 緊急物資支援機材及び非常食等の配備等

協会における非常用通信（衛星・IP電話、防災無線）や発電機等の適正配備及び定期点検の実施、作動訓練とともに、備蓄してある非常食については賞味期限等を勘案して、毎年度の補充・入れ替えの際、社会福祉機関等への提供を通じて有効活用を図った。

また、道の駅などの整備等で貨物トラック専用駐車場が確保された県内2ヶ所の道の駅を所管する都城市と日南市に、災害時に非常用電源として活用でき、県民啓発用のぼり旗を取付・掲揚できる「ソーラー充電式街路灯」等を贈呈した。

◇災害時用備蓄食料品の贈呈概要

- ・ 贈呈日 令和5年12月13日（水）
- ・ 贈呈先 一般財団法人 宮崎県ひとり親福祉連合会 福山陽子理事長
- ・ 贈呈品 缶入りパン（144食）、レトルト食品（180食）、飲料水：2Lペットボトル(120本)

◇ソーラー充電式街路灯等の贈呈概要

- | | ＜都城市役所＞ | ＜日南市役所＞ |
|-------|---|--------------------|
| ・ 贈呈日 | 令和5年7月5日（水） | 令和5年9月19日（水） |
| ・ 贈呈先 | 道の駅「都城NiQLL」
池田都城市長 | 北郷町「道の駅」
高橋日南市長 |
| ・ 贈呈品 | ソーラー充電式街路灯 各一機、
交通安全運動・家畜防疫・シトラスリボン運動等のぼり旗14種類 | |



災害時用備蓄食料品の贈呈



ソーラー充電式街路灯贈呈（都城市）



北郷町「道の駅」の街路灯



⑤ 感染症予防対策

会員事業者従業員の感染症予防対策としてインフルエンザワクチン接種に対し助成した。

＜75社、1,632名、助成額：1,632,000円＞

⑥ 家畜伝染病対策等

《県の防疫措置に係る協力、緊急輸送体制の構築》

豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の発生に対応するため、県と協会の飼料・畜産輸送部会において、平常時の防疫対策及び資機材等の緊急輸送に係る情報共有と協力体制の確認とともに、消毒ポイント設置場所の変更に係る意見交換等を開催した。

なお、本県では令和5年度における家畜伝染病の発生はなかった。

(7) 経営・近代化促進事業

① 青年部研修（再掲）

次代を担う事業後継者、青年経営者を育成するため、研修会や交流会等に参加した。

また、令和6年1月26日（金）には、九州地区運輸青年部連絡協議会（藤元昭太会長）主

催により、「令和5年度（公社）全日本トラック協会青年部会九州ブロック大会」を宮崎観光ホテルにおいて開催し、全国の青年部会員ら約280名が参加した。

＜大会概要＞

- 全ト協テーマ：「One Hert ～さあ行こう！物流の新時代へ～」
- サブテーマ：「九州はひとつ ～物流インフラの価値向上へ～」
- 基調講演：講師 尾木 直樹 氏（教育評論家、法政大学名誉教授）
「未来を変える！人材育成講座」
- その他：青年部会大会旗返還（全ト協青年部会長へ）、懇親会等

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所	出席者数
・ 出前授業	R5. 6. 29	宮崎市立大宮中学校	2名
・ 鹿児島・熊本・宮崎三県交流会	R5. 8. 18	鹿児島県	9名
・ 全ト協青年部会九州ブロック大会	R6. 1. 26	宮崎観光ホテル	16名
・ 全ト協青年部会全国大会	R6. 2. 16	京王プラザホテル	6名

※ 出席者数は、青年部会員の参加者数



青年部会九州ブロック大会（藤元会長あいさつ、大会旗伝達、懇親会）

② 女性部会研修等（再掲）

女性活躍の推進によるトラック運送業界の発展・地位向上のための研修等に参加した。

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所	出席者数
・ 全ト協女性部会全国代表者協議会	R5. 7. 19	全ト協	2名
・ 全ト協女性部会全国研修会	R5. 10. 13	明治記念会館	4名
・ 九州ブロック研修会 IN Kumamoto	R5. 11. 24	ザ・フォレストテラス熊本	9名

③ 幹部・管理者研修

会員事業者の管理者等の資質向上を図るため、知識のスキルアップ、職場環境の改善、職場のイメージアップ等に資する研修会を開催した。

また、中小企業大学校受講については参加者ゼロのため、助成金交付実績は無かった。

④ 第1期経営成長塾の開催

本塾は、会社経営における正しい知識を一つ一つ理解し、自社で実践し、さらなる成長へと進めることを学び、次世代の本県トラック業界をリードする担い手等の育成及びスキルアップを図るため、全7回にわたり講師を招聘し、経営成長塾を開催した。

最終報告会では県ト協役員等が出席の下、各卒塾生から受講で気付いた「自社の価値・強み・課題・改善点と今後の取組方針等」成果発表があり、卒塾生の表情にも自信と成長の跡が伺え、今後とも共に学んだ仲間のネットワークを深めていくことを誓い合った。

＜講師＞ G・Sブレインズグループ 代表 近藤 浩三 氏

<第1期 経営成長塾生：会員7名、オブザーバ2名>

東 良二	共同運送 (株)	栞原夏奈子	エキスプレスコーポレーション (株)
竹之内真一	(株) 霧島商事	山下 孝之	(株) ヤマシタ
草水 祐也	草水運送 (株)	牧田 英作	(株) マキタ運輸
谷山 幸輝	草水運送 (株)	浅井 仁士・甲斐 浩介	宮崎カーフェリー※オブザーバ参加



第1期 経営成長塾（グループワーク、WEBでの塾長講義、第1期卒塾生と講師、県ト協役員）

⑤ 宮崎県貨物運送事業協同組合連合会への活動助成

県3ヶ所の運送事業協同組合運営の近代化促進を目的に、適切な助成と指導を行っている宮崎県貨物運送事業協同組合連合会に対して、120万円の活動助成金を交付した。

⑥ 物流効率化等に関する研究

県が主催する「宮崎県長距離フェリー航路利用促進協議会」や「みやざきアグリフードチェーン司令塔会議」等において、会長出席のもとトラック業界における2024年問題や適正運賃収受に向けた荷主企業等の理解醸成、更には燃油高騰対策等への施策提案等を行った。

更に、県、荷主団体、物流関係業界等が参画する「みやざき農の物流DX推進協議会」の活動と連携して、宮崎を発着する物流の効率化や新たな物流システム等に関する実証試験・研究等を行った。

《みやざき農の物流DX協議会における令和5年度の実証課題》

- 労働時間のルールに対応した輸送体制づくり
(消費地拠点活用、積み合わせ輸送、トラック予約受付システムの利用検証等)
- 輸送の効率化・省力化 (箱規格の統合、パレット輸送実証)
- 船舶の利用拡大 (下り荷確保、新船就航後の利用状況調査、和牛生体のフェリー輸送)
- 地域物流の改善・再構築 (バス+新幹線による輸送実証等)



長距離フェリー航路利用促進協議会



みやざきアグリフードチェーン司令塔会議



1. 1パレット輸送実証試験

⑦ 経営分析の活用促進

国土交通省に毎年報告義務のある「一般貨物自動車運送事業報告書」及び「貨物自動車運送実績報告書」のデータベース化とともに、経営実態の分析等を行った。今後は、会員事業者や専門部会毎の経営指標等の参考として活用する。

⑧ 経営・近代化促進対策に係る各種助成事業

燃料高騰などに対し会員事業者の経営改善の一層の強化を図るため、自家用燃料供給施設の整備支援助成を行っているが、本年度の申請はなかった。

また、物流施設整備やポスト新長期車両導入など、近代化・合理化に資する設備及び輸送力の増強等を促進するため、近代化基金融資に係る利子補給(利子補給率：0.4%)を行った。

区 分	商 工 中 金 融 資		利 子 補 給	
	融資件数	融資実行額	利子補給件数	利子補給額
一般融資	3件	26,230千円	3件	262,034円
ポスト新長期融資	4件	86,581千円	4件	863,014円
省エネ機器融資	0件	0千円	0件	0円
合 計	7件	112,811千円	7件	1,125,048円

(8) 消費者対策事業

① 引越事業者優良認定制度の推進

「引越安心マーク」の普及や一般消費者の認知度向上を図るため、各種イベント等において看板設置やチラシ等を配布し、引越事業者優良認定制度の積極的な周知活動を行った。

② 消費者サービス向上に向けた支援

一般消費者からの引越に係る相談窓口を設置し、迅速・丁寧な対応に努め、「引越講習（基本・管理者）」の実施による引越輸送の品質向上に努めた。

また、引越フェアでは、消費者アンケートを実施し、サービスレベルや輸送品質を保持するための消費者ニーズの調査を行うとともに、引越繁忙期における新聞広告による分散引越の周知活動を展開した。さらに、MRTラジオの「明日が見えるラジオ」に引越専門部会長が出演し、引越繁忙期への備えや引越に役立つ情報を発信した。

また、本県で開催された九州5県引越合同研修会では、各県の連携を密にすることで、引越難民が発生しないような引越サービスの強化と効率化を図る話し合いがなされた。



引越管理者講習（鹿ト協）



引越フェア（消費者アンケート）



MRTラジオで情報発信

(9) 広報対策事業

① 各種メディアを活用した幅広い広報活動の展開

トラック運送事業に関する正しい理解やイメージアップ、更に当協会の活動等を広く周知するため、各種メディア（新聞〈地方・全国紙、物流専門紙等〉、テレビ〈MRT・UMK〉、ラジオ〈MRT・FM〉）を積極的に活用し広告掲載や広報活動を展開した。

さらに、当協会の各種活動等の記者投げ込みも行い、テレビや新聞等で広く発信された。

《テレビ》

◇ UMK

- ・ 毎週金曜日(11:45~12:00)の「ANNニュース」のCM枠で、2024年問題をはじめ毎月テーマを設けて30秒の啓発活動と協会活動のPRを実施

◇ MRT

- ・ 毎週月曜日(11:55~13:55)の「ひるおび」のCM枠で、2024年問題をはじめ、毎月テーマを設けて30秒の啓発活動と協会活動のPRを実施

《ラジオ》

◇ MRT

- ・ 毎週金曜日(18:15~18:45)の情報番組「明日が見えるラジオ」のCM枠で、毎月テーマを設けて20秒の啓発活動と協会活動のPRを実施
- ・ 3月1日(金)の番組に太田引越専門部会長が生出演し、引越繁忙期に向けて消費者等の視聴者に対し「かしこい引越」のためのアドバイスや運送業界の現状、トラック協会の活動紹介等を実施

◇ FM宮崎

- ・ 毎日、月~金曜日(16:00~16:53)の音楽番組「タmix~音の旅」のCM枠で、毎月テーマを設けて30秒の啓発活動と協会活動のPRを実施

《新聞、業界紙》

- ・ 協会における以下の主要活動及び附帯活動において、県民啓発や協会活動のPR等を行うため、協会単独のPR広告と協賛のための名刺広告等を掲載した。
- ・ 県ト協主催で8月31日に開催した「持続可能なみやぎの物流構築のための総決起大会」の総括として、当日の大会内容や物流の2024年問題の提起、更には運送事業者はもとより、荷主や消費者も加わった共同宣言などについて、宮崎日日新聞の全面広告(令和5年10月31日付け)を掲載した。

<掲載新聞>

宮崎日日新聞、毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、夕刊デイリー

<掲載業界紙>

物流ニッポン、カーゴニュース、輸送経済新聞、新日本流通新聞

《協会の主要活動》

①物流の2024年問題の啓発・周知、②協会活動のPR、③交通安全キャンペーン、④適正取引の推進、⑤標準的な運賃の収受、⑥安全性評価事業(Gマーク制度)、⑦引越事業者優良認定制度(引越安心マーク)他

《協会の附帯活動》

①優しい運転キャンペーン、②環境の日特集、③防災の日特集、④飲酒運転根絶強化月間⑤過積載絶滅月間、⑥高速道路整備促進企画、⑦モーダルシフト推進、⑧物流改革等特別企画等の協賛広告

- ・ 本年度も県から2度交付された「交通・物流事業者燃料高騰(継続)対策事業補助金」の非会員向け周知のための広告を2回掲載した。

② 広報誌及びホームページ等による情報提供

＜協会広報誌＞

毎月発行している広報誌「MIYAZAKI TRUCK NOW」による情報等をタイムリーに提供するため、会員のニーズの高いテーマ・話題等の掲載や工夫を凝らした誌面作りに努めた。

また、協会活動等を広くPRし、運送業界への関心・応援の輪を拡大するため、毎月700部発行し、令和6年3月号でNo447に達するとともに、会員事業所をはじめ、各都道府県トラック協会や国・県等の関係行政機関及び地域の関係団体、県選出国會議員や県議会等に広く配布した。

＜協会ホームページ＞

会員事業所や一般者が検索しやすく、情報内容の多様化に対応するため、協会のホームページのリニューアルに併せて、広報誌のバックナンバーをホームページ上で閲覧できるようにするとともに、SNSの普及拡大を背景として協会独自の活動やトラックの日イベント等の動画も制作し、配信を開始した。

＜協会パンフレット＞

協会の広報パンフレットをリニューアル（MTA2023：8，000部）し、上記関係者をはじめ、各種会議やイベント等で一般消費者等にも配布し、協会活動のPRと業界への理解醸成を図った。

③ 広報イベント

10月9日の「トラックの日」に合わせた関連事業として、8月から11月にかけて以下の各種イベント等を開催した。

＜親子で楽しむ「夏休み日帰りバスツアー」＞

◇ イベント内容

夏休みを活用して親子20組を募集し、日頃体験できない地域の産業や物流の主役であるトラック輸送に関して直接体験し、理解を深めてもらうための日帰りバスツアーを開催。

◇ 開催日 令和5年8月3日（木）

◇ 開催場所＜見学・体験コース＞

宮崎県農協果汁(株)工場 → RORO船「HAKKOひなた」 → 国際貨物コンテナ（白浜港ガントリークレーン） → 日向第2PDセンター（センコー(株)）

◇ 参加者数 親子ペア（12組、25名）※ 当日体調不良等でキャンセル有り



県農協果汁(株)工場



HAKKOひなた



白浜港ガントリークレーン



日向第2PDセンター

＜10月9日は「トラックの日」テゲバジャーロ宮崎マッチデー＞

◇ イベント内容

本県のJ3サッカーチーム「テゲバジャーロ宮崎」の冠試合を協賛し、来場者及びサッカー関係者等に「トラックの日」のPRとトラック輸送業界の理解促進等を図った。

◇ 開催日： 令和5年10月1日（日）14：00 キックオフ

- ◇ 開催場所 : 新富町「ユニリーバスタジアム新富」(サッカー場)
- ◇ 試合内容 : テゲバジャーロ宮崎 VS 奈良クラブ
- ◇ 来場者数 : 約1,500名

<県ト協ブース>

スペシャルマッチ特製缶バッジ(先着1,000名)やジャガードタオル(抽選200枚)のプレゼント、パネル展示、県ト協2023パンフ・まるわかりトラックミニ百科の配布、幟・ポスター(秋の交通安全運動、Gマーク、引越輸送、シトラスリボン)、Gマーク日本一横断幕掲示等

<競技場PR: オープニング及びハーフタイム>

県ト協役員及び招待子供とのキックオフセレモニー、選手との記念撮影、MCと引越専門部会長のかけ合いによる「トラックの日」のPR等



テゲバ選手との記念撮影



キックインセレモニー



選手入場ゲート



ハーフタイムの県ト協PR

《Karada Good Miyazaki フェスタ2023》

◇ イベント内容

一般消費者等との交流活動によってトラック業界への理解促進や魅力向上を図るため、県等が主催するフェスタへブース展示を行った。

- ◇ 開催日 : 令和5年11月5日(日)
- ◇ 開催場所 : JA・AZMホールの本館(大ホール)、屋外(イベント広場)
- ◇ 来場者数 : 約5,000名

<県ト協ブース>

トラック輸送産業のPR・人材確保のパネル展示、県ト協パンフ・まるわかりトラックミニ百科の配布、幟・ポスター(交通安全運動、シトラスリボン運動)、Gマーク日本一横断幕掲示等

<コーナー設置>

交通安全啓発ゲームコーナー(2ヶ所)・粗品プレゼント

<展示・試乗>

セーフティフェニックス号による自動車運転シュミレータ(宮崎県警本部協力)

<引越フェア>

引越専門部会による消費者アンケートの実施、引越トラックの展示等



県ト協ブース



交通安全啓発ゲーム



セーフティフェニックス号



引越専門部会アンケート調査

また、例年実施している献血活動では、3ヶ所で総勢99名の協力をいただくとともに、チャリティゴルフでは会員事業所など111名の参加を得て、チャリティ募金も実施し、交通遺児等育成金等に寄付を行った。

◇ 献血活動

	実施月日	実施場所	提供人数
本部	R5. 10. 18	宮崎県トラック協会総合研修会館	25名
県北支部	R5. 10. 8	イオン日向展	33名
都城支部	R5. 10. 10	宮崎県トラック協会都城支部、松尾運送	41名

◇ チャリティゴルフ

開催日：令和5年9月28日(木) 開催場所：みやざきカントリークラブ
 参加人数：111名 義援金額：390,185円
 寄付先：県交通安全対策推進本部、公益社団法人交通遺児等育成基金



献血活動（県ト協）



チャリティゴルフ

④ 「宮崎県のおしごと キャリア教育本」の発行・配布

県内企業で活躍している様々な業種・仕事を紹介し、未来の担い手となる県内の全小学4年生や中学2年生をターゲットに、新たな発見や探険をしてもらうための「キャリア本」製作に協賛し、トラック協会の活動とトラックドライバーの仕事等を掲載した。

また、WEB版でも女性ドライバーの仕事・運転動画も見ることができ、教育現場だけでなく各家庭における親子でのキャリア教育に活用された。

- 発行部数 : 20,000部、インターネット版の開設
 <<http://miyazaki.hakken-tanken.com/>>
- 配布先 : 県内の小学4年生、中学2年生全員に配布、教育関連施設、県内図書館

⑤ シトラスリボンプロジェクトへの参画

シトラスリボンプロジェクトに賛同し、コロナ禍での医療従事者等への差別を無くすためのポスター展示や各種印刷物へのロゴ掲載などによる理解醸成や啓発活動を図った。また、シトラスリボンのラッピングトラックが市中走行し、県民への普及広報活動を行った。

(10) 負担金事業

① 全日本トラック協会への出捐

県から交付を受けた運輸事業振興助成補助金の23%を、運輸事業の振興の助成に関する法律及び法令に基づき、(公社)全日本トラック協会へ出捐した。

◇ 出捐額 37,214,320円

8 研修施設の賃貸事業及び記録簿等の販売 《収益事業》

(1) 研修施設及び機器の貸出し

当協会総合研修会館の会議室等について会員事業者や関係機関への貸出しを行った。

◇ 会議室・機器貸出し

総合研修会館 会議室 延べ 130回 収入額：4,567,420円

(2) 協会所有施設の賃貸

施設名	賃 貸 先	収 入 額
総合研修会館	宮崎県貨物自動車運送適正化事業実施機関	月額 559,068円
	陸上貨物運送事業労働災害防止協会宮崎県支部	月額 141,169円
	南九州交通共済協同組合宮崎県事務所	月額 284,345円
	独立行政法人自動車事故対策機構宮崎支所	月額 489,288円
県北輸送サービスセンター	宮崎県県北ダンプ運送事業協同組合	月額 22,000円
合 計		17,950,440円

(3) 物品販売

法令で義務付けられている運転日報、点呼記録簿等を販売した。

◇ 販売件数

件 数	収 入 額
約500件	1,315,270円

飲料メーカー2社との契約に基づき自動販売機を設置し、設置手数料の一部を日本赤十字宮崎県支部に支援金として贈呈した。

更に、会員事業所に設置してある自動販売機に対しても同様に協力要請し、支援事業所の拡大を図った。

手数料収入額	支 援 金
90,380円	22,215円

※ 当協会分のみ計上

9 福利厚生・表彰事業 《その他事業》

(1) 福利厚生事業

会員事業者のドライバーを含めた従業員が心身のリフレッシュを図り、労災事故の防止、健康増進による消費者・荷主への安定した輸送サービスの維持・向上のため、福利厚生事業（ボーリング大会等）に対して助成した。

支部名	行 事 内 容	開 催 日	開 催 場 所	参 加 者 数
中央南	・第35回親睦ボウリング大会	R5.10.29	宮崎エースレーン	14チーム、42名
中央北	・第1回親睦ゴルフ大会	R5.11.17	サンシャイン	10社、16名
	・第2回親睦ゴルフ大会	R6.3.8	レイクサイド	14社、23名
県 北	・夏休み陶芸教室	R5.7.22	県北支部事務所	20名
	・令和5年度親睦ボウリング大会	R6.2.4	延岡サンボウル	13チーム、39名
都 城	・第19回支部親睦ボウリング大会	R5.11.26	都城ハイレーンズ	26チーム、78名

(2) 表彰事業

令和5年度における表彰受賞者は次のとおり。(順不同、敬称略)

① 全日本トラック協会優秀運転者顕章(33名)

部 門	会 社 名	受 賞 者 氏 名
金 章 (16名)	川南工業(株)	若本 修
	(有)吉行産業	浜田 豊 大田 賢治
	日本通運(株) 宮崎支店他	梅木 慶一 小田 克己 重原 健太 野元 明 上村 勉 永友 久士 田中 良一 狩野 正 山田 正一 野口 祐輔 夏田 能成
	日通宮崎運輸(株)	白坂 孝美
	(株)南九州共配	木下 浩二
	銀 章 (33名)	新日本ロジ(株)
(株)霧島商事		東 直樹 宇都 洋平
日豊輸送(株)		岩城 洋秋 加藤 浩児 串間 正道 小森 康弘
(有)吉行産業		深増 浩司 久保 千春 永田 強 大迫 昭一 武 和哲 切畑 政広 下り藤 修
日本通運(株) 宮崎支店他		椎葉 智美 重久 広慈 土屋 哲伸 松元 博之 和田 晃輔 北田 浩一 村角 宣宏 川添 俊一 大田川政俊 上原 英和 三森 克実 黒仁田一彦 増田 安成 権藤 堅太 橋野 貴文

② 全日本トラック協会表彰規程による表彰(2名)

会 社 名	受 賞 者 氏 名
(株)博運社	新納 勝利 松本 孝一

③ 全日本トラック協会「正しい運転・明るい輸送運動」表彰(2名、1社)

部 門	会 社 名	受 賞 者 氏 名
従 業 員	串間運送(有)	川野 茂
	(株)ヤマシタ	長迫 誠
事 業 所	(有)昇栄運送	

④ 宮崎県トラック協会会長表彰(55名)

<運転者部門> 50名

会 社 名	受 賞 者 氏 名
全輪興業(株)	須賀 純明 末原 浩行 島盛 美芳
南九州センコー(株)	室田 健治
(株)戸高物流	甲斐 貴之
合同会社ティープラス	岡田 一男

会 社 名	受 賞 者 氏 名			
(株)マキタ運輸	亀石 久夫	西立野謙一	原口 辰弘	
(株)霧島商事	青山健一郎	小倉 光博	吉谷 正人	
松本運送(有)	寺田 祐也	河野 光秀	下村 誠	
(有)日輪運輸	西ヶ野秀樹			
(株)マルビシ興運	黒木 康博	岩切 次生		
(有)原田運輸	吉田 敏郎			
(株)本田運送	都甲 勉	松田 優二	菊池 正史	山中登志彦
	甲斐田義明	黒木 隆一	寶田 智己	甲斐 武彦
	北村 寿志	谷本 聖子		
草水運送(株)	荒木 真司	長友 幸男	井澤 仁	井澤奈穂子
(株)博運社宮崎営業所他	上田 正三	古謝 智志	藤本 健悟	谷口 竜也
	小川 信治	諸岩 豪人	江藤 俊一	齊藤 大悟
	倉山 陽介	豊永 豊	宮本 祐	小坂 茂明
	鳴海 誠	山下 明	川上隆太郎	宮之原昌史
	齊藤 政径			

<従業員部門> 5名

会 社 名	受 賞 者 氏 名	
(株)戸高物流	宮原 伸浩	
(株)谷口組	熊給 幸和	
松本運送(有)	脇元 礼子	岩田 智子
(株)桐原商事	大丸 洋子	

⑤ 宮崎県トラック協会 令和5年度無事故事業所表彰(順不同 53事業所)

会 社 名	事業所名	会 社 名	事業所名
(株)宮崎ジャパンエクスプレス	本社営業所	(有)三協運輸	本社営業所
合同会社ティープラス	本社営業所	(株)JA物流みやざき	霧島営業所
(株)戸高物流	田野営業所	高千穂倉庫運輸(株)	宮崎営業所
(株)戸高物流	宮崎北営業所	高千穂倉庫運輸(株)	赤江営業所
(株)霧島運送	本社営業所	高千穂倉庫運輸(株)	江平営業所
(有)テクニカル・キナイ	本社営業所	日通宮崎運輸(株)	日向事業所
加藤産業(株)	本社営業所	日通宮崎運輸(株)	日南事業所
G T エナジー(有)	本社営業所	(株)田村運輸	本社営業所
一番運輸(株)	延岡営業所	新日本ロジ(株)	本社営業所
(有)ケーライン	本社営業所	(有)ドリームロード	本社営業所
(株)古川興業	本社営業所	日豊輸送(株)	本社営業所
(有)日輪運輸	本社営業所	佐川急便(株)	宮崎営業所
むつみ産業(株)	本社営業所	一番運輸(株)	宮崎営業所
宮崎県南部酪農業協同組合	本店営業所	本田運送(株)	本社営業所
(株)ケイ・エム・エクスプレス宮崎	本社営業所	草水運送(株)	本社営業所
(株)ケイ・エム・エクスプレス宮崎	宮崎営業所	都城ダイキュー運輸(株)	本社営業所
(株)FK物流	本社営業所	センコー(株)	延岡車輛営業所
(有)コア物流	本社営業所	臼杵運送(株)	宮崎営業所

会 社 名	事 業 所 名	会 社 名	事 業 所 名
(株)大藤産業	本社営業所	(株)博運社	延岡営業所
(有)山下商事	本社営業所	矢野産業輸送(株)	日南営業所
(株)トランスポートTakuyo	本社営業所	矢野産業輸送(株)	田野営業所
(株)マキタ運輸	宮崎営業所	矢野運輸(株)	広原営業所
(株)マキタ運輸	本社営業所	矢野運輸(株)	日向営業所
(有)丸松運輸	本社営業所	矢野運輸(株)	田野営業所
松本運送(有)	本社営業所	司南九州(株)	都城営業所
(株)博運社	宮崎営業所	(有)昇栄運送	本社営業所
(株)博運社	都城営業所		